

2006 年度 県民アンケート調査結果

1. 調査の方法と留意点

(1) 調査方法

本調査は、2003 年度に導入された森林環境税が 2007 年度に終了するため、森林環境税を今後継続するかどうか、あるいは、継続するとすればどのような制度が望ましいかに関する県民の意向を明らかにするために行われた。

アンケート調査票は、巻末に添付した。森林や森林環境税への関心（問 1～問 5）、これまでの森林環境税の周知度や今後の事業のあり方（問 6）、森林環境税の評価や継続の是非（問 7～問 9）、今後取り組むべき事業（問 10）、次期環境税の期間・負担のあり方（問 11～問 15）、回答者の属性（性別・年齢など）（問 16～問 20）からなっている。

アンケートは、県内の選挙人名簿から無作為に 4136 名の県民を抽出し、2006 年 11 月 27 日にアンケート票を発送した。回収は 2007 年 2 月 2 日まで行い、うち回答者まで到達したアンケート票は 4028 通、回答数は 1001、24.9%となった。

(2) 集計の方法

アンケート集計に際しては、設問の条件を満たしていない回答はすべて無効とした。例えば、単一回答（ひとつだけ選ぶべき設問）で、複数の回答を行ったり、問 10 のように該当するものを 3 つ選ぶとしているにもかかわらず、4 つ以上の回答があった場合には無効な回答とみなした。また、問 10 以降は先行する設問の回答によって回答者が条件づけられている場合には、条件を満たす回答者のみの集計を行っている。

(3) 先行するアンケート調査との関係

本県では、2003 年度、2005 年度に森林環境税の周知度・認識度および評価を定点観測するためにアンケート調査を行ってきた。これらの調査で使用したアンケート調査票には本アンケート票と類似した項目が少なからずある。しかし、本アンケートは継続の是非や今後の制度設計を問いかける設問体系となっており、先行するアンケートとは異質である。調査内容が複雑化していることもあって、今回のアンケートは回答率は低く、25%程度に留まっている¹。こうしたことから、ここでは本アンケートの結果を先行する

¹ 先行するアンケート調査と比較するとその水準は 1 割近く低い。

調査結果と直接の比較することは避け、本分析の意味づけを行うための補足的な比較に留めている。

2. アンケート結果の分析

(1) 単純集計，および，理由などの整理

【問 1 高知県の森林の現状を知っていたか】

問 1 では森林荒廃の問題を問いかけている。「よく知っていた」「だいたい知っていた」とするものを合わせると、84%を超える高い水準になっている。

問 1 高知県の森林の現状を知っていたか		
区分	回答者数	%
よく知っていた	317	31.7
だいたい知っていた	526	52.5
ほとんど知らなかった	113	11.3
全く知らなかった	38	3.8
不明	7	0.7
合計	1001	100.0

【問 2 「森林環境税」の導入を知っていたか】

問 2 は、森林環境税の認知度を尋ねている。ここでも 62% を越す回答者が「知っていた」と回答しており、関心の高さを知ることができる。

問 2 「森林環境税」の導入を知っていたか		
区分	回答者数	%
知っていた	626	62.5
知らなかった	365	36.5
不明	10	1
合計	1001	100

【問 3 個人が 500 円/年「森林環境税」を納めている事を知っていたか】

問 3 は、森林環境税の納税者としての自覚があるかどうかの設問である。ここでも過半数の回答者が「知っていた」と回答している。

問3 個人が500円/年 森林環境税,を納めている事を知っていたか			
	区分	回答者数	%
	知っていた	531	53
	知らなかった	462	46.2
	不明	8	0.8
	合計	1001	100

【問4 身の回りの森に関心・興味はあるか】

日ごろから身の回りの森に関心や興味があるかとの設問に対しては、7割近い回答者が「関心がある」としている。

問4 身の回りの森に関心・興味はあるか			
	区分	回答者数	%
	非常に関心がある	150	15.0
	関心がある	539	53.8
	どちらとも言えない	177	17.7
	あまり関心がない	118	11.8
	全く関心がない	10	1.0
	不明	7	0.7
	合計	1001	100

【問5 植樹や間伐のボランティア活動に参加したことはあるか】

植樹や間伐のボランティア活動の経験を問いかけた結果、回答者数の約11%がボランティア活動への参加経験があるとしている。

問5 植樹や間伐のボランティア活動に参加したことはあるか			
	区分	回答者数	%
	ある	112	11.2
	ない	881	88.0
	不明	8	0.8
	合計	1001	100

【問6 森林環境税の周知度と今後のあり方】

問6では、森林環境保全基金を基に実施している事業の周知度を問うとともに、それぞれの事業を今後いかにすべきかを尋ねている。事業としては1)テレビ・新聞などの広報事業、2)県民主体の活動支援、3)森林環境学習、4)竹林や里山の整備、5)森林ボランティア団体の設立や活動支援がある。また、今後のあり方としては、充実する、現状維持、

縮小する，廃止，わからない，の5つの選択肢が提示されている．以下では，それぞれの事業についての周知度と今後のあり方を順番に整理する．

【問 6-A1 広報や情報発信事業を知っていたか】

広報事業については，約 46%の回答者が「知っていた」としており，ここで提示されている事業の中では周知度が最も高い．

問 6 - A 1 【広報や情報発信】 知っていたか			
	区分	回答者数	%
	はい	458	45.8
	いいえ	543	54.2
	不明	0	0
	合計	1001	100

【問 6-A2 広報や情報発信に対する意見】

しかし，広報事業を今後さらに充実すべきとする回答者は 35%に留まっており，ここで比較されている事業の中で最も低い水準にある．広報事業は県民への周知度が高い一方で，今後は拡充しようという意見は比較的低い．これまでの事業で十分との判断がそこには伺える．

問 6 - A 2 【広報や情報発信】 に対する意見			
	区分	回答者数	%
	充実	354	35.4
	現状	357	35.7
	縮小	52	5.2
	廃止	18	1.8
	わからない	53	5.3
	不明	167	16.7
	合計	1001	100

【問 6-B1 森林保全の県民の活動支援を知っていたか】

森林や山を守るための県民の主体的な活動の支援を知っているかどうかの問いかけに対しては，わずか 23%ほどの回答者が知っていたとしている．問いかけ自体がややわかりにくいこともあるが，周知度は問 6 で提示した事業の中で最も低い水準に留まっている．

問 6 - B 1 【森林保全の県民の活動支援】 知っていたか			
	区分	回答者数	%
	はい	227	22.7
	いいえ	773	77.2
	不明	1	0.1
	合計	1001	100

【問 6-B2 森林保全の県民の活動支援に対する意見】

森林保全の県民の活動支援に対しては、広報事業より高い約 44%の回答者が充実すべきとしている。

問 6 - B 2 【森林保全の県民の活動支援】 に対する意見			
	区分	回答者数	%
	充実	439	43.9
	現状	251	25.1
	縮小	13	1.3
	廃止	11	1.1
	わからない	70	7.0
	不明	217	21.7
	合計	1001	100

【問 6-C1 子供たちへの森林環境学習支援を知っていたか】

森林環境教育への支援事業を知っていたかどうかの問いかけに対しては、3 割を超える回答者が知っているとしており、広報事業に次ぐ周知度が確認された。

問 6 - C 1 【子供たちへの森林環境学習支援】 知っていたか			
	区分	回答者数	%
	はい	338	33.8
	いいえ	662	66.1
	不明	1	0.1
	合計	1001	100

【問 6-C2 子供たちへの森林環境学習支援に対する意見】

しかし、今後のあり方となると広報事業と大きく異なっている。森林環境教育事業を今後さらに充実すべきとする回答者の比率は 5 割を越え、問 6 の事業の中でも 2 番目に高い数値となっている。

問 6 - C 2 【子供たちへの森林環境学習支援】 対する意見			
区分	回答者数	%	
充実	513	51.2	
現状	239	23.9	
縮小	7	0.7	
廃止	8	0.8	
わからない	45	4.5	
不明	189	18.9	
合計	1001	100	

【問 6-D1 ダムの上流などでの間伐事業を知っていたか】

ダム上流域での緊急的な間伐事業を行っていることを知っているかどうかの問いかけには、約 4 分の 1 の回答者が知っているとした。この比率は他事業と比較するとかなり低い水準にある。

問 6 - D 1 【ダムの上流などへの間伐実施】 知っていたか			
区分	回答者数	%	
はい	254	25.4	
いいえ	743	74.2	
不明	4	0.4	
合計	1001	100	

【問 6-D2 ダムの上流などでの間伐事業に対する意見】

周知度は低い水準に留まっているものの、今後のあり方については積極的な意見が支配的であり、充実すべきとする回答者が過半数を超えている。

問 6 - D 2 【ダムの上流などへの間伐実施】 対する意見			
区分	回答者数	%	
充実	505	50.4	
現状	190	19.0	
縮小	12	1.2	
廃止	10	1.0	
わからない	65	6.5	
不明	219	21.9	
合計	1001	100	

【問 6-E1 荒廃竹林・山里などの整備事業を知っていたか】

荒廃竹林・山里の整備事業もダム上流部の間伐事業と類似した回答になっている。周知

度は3割弱と必ずしも高くない。しかし、今後のあり方は充実すべきとする割合が約57%にものぼり、今回比較した事業の中で最も高い水準にある。

問6-E1 【荒廃竹林・里山などの整備】 知っていたか			
区分	回答者数	%	
はい	295	29.5	
いいえ	701	70.0	
不明	5	0.5	
合計	1001	100	

【問6-E2 荒廃竹林・山里などの整備事業に対する意見】

問6-E2 【荒廃竹林・里山などの整備】 に対する意見			
区分	回答者数	%	
充実	570	56.9	
現状	165	16.5	
縮小	8	0.8	
廃止	7	0.7	
わからない	60	6.0	
不明	191	19.1	
合計	1001	100	

【問6-F1 森林ボランティア設立や活動支援事業を知っていたか】

森林ボランティアへの支援事業を知っているかどうかの問いかけには、約4分の1の回答者が知っていると答えているが、他の事業と比較するとその水準は決して高くはない。

問6-F1 【森林ボランティア設立や活動支援】 知っていたか			
区分	回答者数	%	
はい	244	24.4	
いいえ	754	75.3	
不明	3	0.3	
合計	1001	100	

【問6-F2 森林ボランティア設立や活動支援事業に対する意見】

森林ボランティアへの支援事業に対しては、42%の回答者が充実を望むとしている。

問 6- F2 【森林ボランティア設立や活動支援】 に対する意見			
区分	回答者数	%	
充実	421	42.1	
現状	270	27.0	
縮小	17	1.7	
廃止	10	1.0	
わからない	77	7.7	
不明	206	20.6	

以上、問 6 の回答を総括すれば、回答者の意向は大きく 4 つに分類できそうである。第 1 は広報事業である。すでに周知もされており、かつ、今後の拡充を望む声は必ずしも高くない事業である。第 2 は、森林環境学習事業である。周知度はまずまずの水準にあるが、今後はさらに充実を望む意見が強い。一定の理解を前提に支持する意見が支配的である点に特徴がある。第 3 は、ダム上流域での間伐や竹林・里山の整備事業である。周知度は決して高くないものの、その重要性を過半の回答者が認めており、その活動への支持は根強い。第 4 は県民主体の活動への支援や森林ボランティアへの支援事業である。これらの事業の周知度は相対的に低く、今後の充実については、一定の支持（4 割強の支持）が得られている。第 1 と第 3 のグループの中間に位置づけてもよいかもしれない。

【問 7 森林環境税に対する評価】

「森林環境税の仕組みや使いみちを全体として評価する」との問いに対して、「大いに賛成」「どちらかといえば賛成」とする回答者の比率は 8 割を超えている。他方、「どちらかといえば反対」「反対」を合わせても、その合計はわずか 4%未滿に留まっている。

問 7 森林環境税に対する評価			
区分	回答者数	%	
大いに賛成	357	35.7	
どちらかといえば賛成	451	45.1	
どちらかといえば反対	23	2.3	
反対	16	1.6	
わからない	118	11.8	
不明	36	3.6	
合計	1001	100	

なお、問7では、選択した理由を自由に書き込む欄が設けてある。以下では、選択肢ごとに主な記入例を整理する。

1) 大いに賛成

森林県としての意義や環境保全の必要性のほか、全国への税制創設のための先行事業と捉える回答者も少なくない。

- ・ 国一の森林県といわれる高知県。しかし、県内どこへ行っても山の手入れをされているところは、あまり見られません。むしろ放置されていることが素人の私でもよくわかります。地球温暖化防止、災害防止、水源をまもることなどに、県民が大いに山に目を向けなければならないと思います。
- ・ 森林環境税は続けて納めて、引き続き取り組み強化を望みます。山が死ねば四万十川も死んでしまいます。清流四万十川を後世に残すのは、森が生きていればこそです。
- ・ 森林県といわれている高知県だが、ほとんどは針葉樹の人工林ばかり。もっと広葉樹を植えなければ！
- ・ 子孫の未来のため
- ・ 森林県高知を守りたい。
- ・ 高知県が他県に誇れる使い道をはっきりした税金だと思う
- ・ 山の多い高知県にとって森林保全は大切。税収の少ない高知県では別途の徴収はやむを得ない。
- ・ 500円で環境が守れるのであれば守って欲しい
- ・ 地球環境の悪化を防止するには少ない施策でもすぐ始めるべきである。全国に全世界に波及さすべきだ。
- ・ 県として取り組む政策というより国がもっと動くべき

2) どちらかといえば賛成

どちらかといえば賛成という背景には、事業の実態がわからないという声が少なくない。制度としては理解できるが、活動内容がわからないから、大いに賛成とはならない。また、少数意見として、問伐の予算割合を増やすべきとする回答者もあった。

- ・ 賛成だが、何を何にどれくらいいつかっているか全然わからないし、もっとニュースなど時間をきめてテレビなどでながしていったら少しずつわかるので

はないか？

- ・ 県民に“森林環境税”が認知されているのか？使いみち（取り組みの結果）が県民に広く知られているのか？が謎なので...“どちらかといえば”にしました．
- ・ 広報等の皆がわかる様に報告すべき
- ・ 仕組みは賛成だが、使いみちはパンフレットだけでは良く分からない．分からせる工夫を!!効果についてもよく分からない．実感できるように！
- ・ よくテレビで活動内容や森林関係のテレビを見ますが、身近でそういった活動が無い．周りは皆高齢者ばかりで間材が必要な山も多い．実際間材すると、仕組みがイマイチ分からない．
- ・ もう少し事業報告をしっかりと欲しい
- ・ 事業内容によりけり
- ・ 17年度の環境緊急保全費 74.3%～80%くらいで間伐等実施すると良いと思われま

3) どちらかといえば反対

どちらかといえば反対の理由には、事業内容が把握できない、あるいは、信用できないとする行政への不信感がある．また、所有者責任を問う意見や税負担そのものへの反発などもある．

- ・ 4年間も広報活動してきたとあるが、認識できない．どういう広報の仕方が、お金をかけているわりに一部のみにしか浸透してないのはどうかと思う．この頃特に思うのですが、何でも新しい税を全ての人に平等にかけて、有無を言わず徴収する、それがちゃんとした使い方ができて出来ているのかどうかの報告もない 事業費とか 保全費とか細かくどういうふうに使われたかわからない．国自体が山を捨てて今に至って手をつけなくてはならなくなったから費用を県民に持ってくるのはどうかと思う．山の仕事をして収益をあげてまかなうべきだと思う．税金のなかでもムダに使われている事も多い．もう少し考えてもらいたい
- ・ 今現在、森林は荒廃していることは現実だから、ハード事業に力を入れ、まずは集中的に森林の保全をした後、ソフト事業に集中的に力を入れたほうが良いと思う．そうしないと、両方が中途半端で、税金を納めている我々に事

業の成果が伝わってこない

- ・ 税の使途・取組み・成果の具体的な内容が周知されてなく、何年かに一度“評価しろ”と言われても評価出来得るものでもなく、むしろ不信感がわく。
- ・ 県民への説明が足りていない 県民の多くが理解しているとは思えない
- ・ 所有者が自己管理が原則である
- ・ 経済不況のため税金を増やして欲しくない

4) 反対

最も多かったのは、使途が不明である点。どのように使用されているかがわからない税だから反対とするものである。所有者責任などを問う声もあった。

- ・ 使い道がわからないし、どういう形で税を引かれているのかわからない。そんなにして、また個別化し税を他方は集めないといけないか
- ・ 県民への説明が足りていない 県民の多くが理解しているとは思えない
- ・ かけ声だけで実際に行われているか疑問である
- ・ そもそも森林環境税などという税が不透明
- ・ 国策の誤り（針葉樹林などの補助金） 間伐は所有者の責任

5) わからない

「わからない」とする理由についても、使途が不明であるとする意見が大多数であった。説明責任が問われているといえよう。

- ・ 何にいくら使っているのか分からない。細かい使い方
- ・ 使いみちを知らないのです、わかりません
- ・ 集めた金の使用内容の公表などをしてもらわないと、どのように使われているのかよくわからない
- ・ 山の事はいっさいわかりません
- ・ 仕組み、使いみちを示しているのを見たことがないので
- ・ 納めている事すら知らなかったのです、使いみちの内容がわからない

【問 8 森林環境税 H20.4 以降の継続に対する意見】

現行の森林環境税が 2007 年度に終了した後、森林環境税を継続すべきかどうかの問いかけに対しては、約 84%の回答者が賛成としている（「大いに賛成」「どちらかといえば賛成」の合計）。現行の森林環境税の仕組みに賛成とした回答者以上の回答者が継続には

賛成の意向を示している。

問 8 森林環境税 H20. 4以降の継続に対して		
区分	回答者数	%
大いに賛成	452	45.2
どちらかといえば賛成	383	38.3
どちらかといえば反対	33	3.3
反対	24	2.4
わからない	86	8.6
不明	23	2.3
合計	1001	100

問 8 でも、選択した理由を自由に書き込む欄が設けてある。以下では、選択肢ごとに主な記入例を整理する。

1) 大いに賛成

環境保全を考えると、持続性が必要との意見が大半を占めている。また、現在をいわばスタート地点として段階的にみる視点もあり、注目される。

- ・ 「山を守る」ということは、人の手を加えることが大切で短期間で終わるようなものではないと思います
- ・ 継続しないと意味が無い問題だと思うから。
- ・ 高知県は 8 割が森林面積。森林開発・保全で県民を自然災害から守り、農林水産業にも関連することなので永続的に続けて欲しい
- ・ 高齢化や林業離れを進むのを止めるのは困難だと思うので、県民全体で支えていくべき
- ・ 地球温暖化の為、世界中の一人一人が協力しましょう
- ・ 高知県が全国に先駆けて導入した森林環境税は、高知県が誇れる数少ない業績で、平成 20 年 4 月以降も是非継続してほしい
- ・ この問 8 は愚問です。たった 5 年で何が出来ますか?続けて下さい
- ・ 4 年間で地に着いた施策が始まったばかり。これからが大切だと思います
- ・ 軌道に乗っているとは言いがたい為

2) どちらかといえば賛成

増税の負担感や国との負担のバランスが懸念され、結果として「大いに賛成」ではなく「どちらかといえば賛成」に落ち着いている。

- ・ 5年間では具体的効果が見えないが、税金が高くなる
- ・ 森林の荒廃をこれ以上ほうっておいて、子どもたちに負の遺産を残すべきでないと思う。そうかといって、安易に税金を上げるべきでもない。今でも森林環境税の使い方に無駄が無いと言えるでしょうか？
- ・ もっと国も重要視すべきである
- ・ 四国及び高知県内の山森では、国有林の割合が相当に高いときいています。国の森林環境に対する取り組みはどんなものですか？税という形での取り組みなので、国とのバランスも多少は気になりますので
- ・ 自助が国の方針と見受けられる。下手をすると何もかも県民の出費に依存することになることを心配しながら...財産の森は守りたい
- ・ 県のとりくみに対しての意欲というかやる気が見えてこない

3) どちらかといえば反対

増税に対する心配や税制としては他の仕組み（国税・環境税など）にすべきという主張、効果に対する疑問が反対理由となっている。

- ・ 森林が多く手入れが大切な反面、老人世帯が多く、税を払うのが大変なのでは
- ・ 自然のなかで生かされているので、自然を守り、次の世代に美しい自然環境を残したい。ただ税金はこれだけではありません。他の税金は容赦なく増税で年金生活者は苦しいです
- ・ 県単位ではなく、国策として対応すべき
- ・ 森林だけ限定せずに、環境税として徴収してほしい
- ・ 今後の方針や最終的な具体的ビジョンが不明確
- ・ 余り効果がないようであれば廃止すべきでしょう

4) 反対

上記の理由と重複するところが多い。緑の募金との重複は注目される指摘である。こうした重複を整理する情報はどこからも得られていないのが現状といえる。

- ・ 所得減税の廃止、高齢者医療の負担増等など国民の負担が多くなっている最近、県民の為であっても税金は少しでも負担を軽くしたい。生活の苦し

い．都会の人の生活も、田舎が健全であってこそ成り立っているので、一
 県民のみが負担をする必要はない．全国的な視野で考えてほしい

- ・ 直接目的税は集めだしたら際限がない
- ・ 成果が出てこない
- ・ 造林行政の欠点があったものです
- ・ 緑の羽募金と重複している

5) わからない

効果がみえにくいことや増税から，税の目的は理解しながらも「わからない」とする
 意見が多い．

- ・ 効果が分からないから
- ・ 今まで目に見えることがありますか？
- ・ 適切に税を活用してもらえるのであれば賛成
- ・ 税が多すぎて家計の負担になるので、ほどほどにしてほしい

【問 9 森林環境税継続の反対理由】

問 9 では，森林環境税の継続に反対であったとした回答者に，その理由を問いかけている．
 理由として最も多かったものは「所有者が責任を持つべき」とするもので 56%にのぼる．
 次いで多いのは「行政が他の財源すべき」との意見であった．

問 9 森林環境税継続の反対理由		
区分	回答者数	%
荒廃森林は、自然のまま放置でよい	5	8.8
森林整備は、行政が他の財源で整備すべき	22	38.6
所有者が責任を持つべき	32	56.1
啓発・広報は不要、間伐等整備に重点置くべき	8	14.0
その他	8	14.0
不明	0	0.0
合計	57	100.0

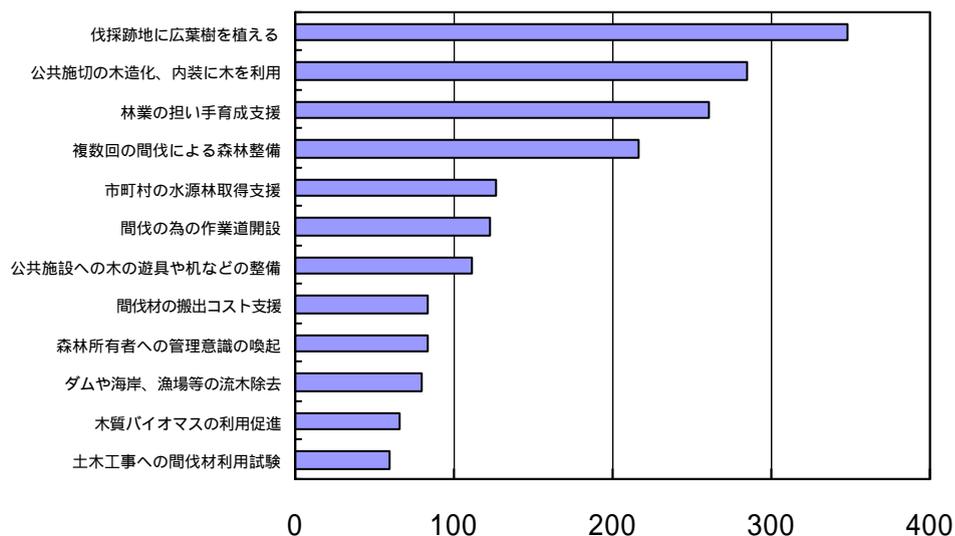
注) この設問は問 8 で 2008 年度以降に森林環境税を継続することに「反対」「どちらかといえば「反対」とした回答者が対象とされているので，これらの総計 (57) を母数として比率 (%) を計算している．
 また，設問は複数回答である．

問9でも、選択肢を選んだ理由を記入する欄がある。選択が複数回答であるので、以下では、その主な理由を一括して列挙する。

- ・ 森林の木を売り金になるのは地主であり、それを税で助けるのか。みどりを増やそうならまだ筋は通る
- ・ 税金を他の税金で行ってほしい
- ・ 可否を判断する材料がすくない
- ・ 他県に比べて新しいことをすればよい県民の負担を考えない知事の姿勢に問題がある。朝星、夜星ではたらいっている人間が居ることを考えない。とればよいということに問題がある
- ・ 木の事はまったく知識がなく、さっぱり分からん
- ・ 政策を立案する人が自分が担当のときだけを考えてなすべきでない。
- ・ 1～4では、あまりにもいい加減な設問である

【問10 次期の森林環境税継続で取組むべき事業】

次期の森林環境税で取り組むべきと考えられる事業を問いかけた結果が、以下の図表である。「伐採跡地に広葉樹を植える」「公共施設の木造化、内装に木を利用」「林業の担い手育成支援」「複数回の間伐による森林整備」などの事業に2割以上の賛成が集まっている。



問10 次期の森林環境税継で取組むべき事業		
区分	回答者数	%
伐採跡地に広葉樹を植える	348	37.8
公共施設の木造化、内装に木を利用	285	30.9
林業の担い手育成支援	261	28.3
複数回の間伐による森林整備	216	23.5
市町村の水源林取得支援	126	13.7
間伐の為の作業道開設	123	13.4
公共施設への木の遊具や机などの整備	111	12.1
間伐材の搬出コスト支援	84	9.1
森林所有者への管理意識の喚起	83	9.0
ダムや海岸、漁場等の流木除去	80	8.7
木質バイオマスの利用促進	66	7.2
土木工事への間伐材利用試験	60	6.5
不明	284	30.8
合計	921	100.0

注) この設問は問8で2008年度以降に森林環境税を継続することに「大いに賛成」「どちらかといえば賛成」「わからない」とした回答者が対象とされているので、これらの総計(921)を母数として比率(%)を計算している。

問10では、例示されていない事業で今後取組むべき事業を記入する欄がある。選択が複数回答であるため、問9と同様に、その主な事業を以下に列挙する。例示されている事業が林業の視点に偏っているため、環境教育、ボランティア、自然保護などの領域での提案が目立っている。

- ・ 1、小中学生の現場へ宿泊しての体験教育、2、森林ボランティア団体の活動に対して経済的支援の拡充
- ・ 現在子供達が遊べる環境は皆無の様な状態です。(川へ行ってはならない、公園は十分に広くない)昔のように山で毎日子供達が遊べる環境が欲しい。里山の整備を希望します
- ・ 子供たちが森林浴したり、自然の中で虫や小動物と接したり、どんぐり拾い etc. 植物観察とか、山を知る人達と共に学んでほしい。(学校行事としてやってもらいたい) 生きる力になると思う
- ・ 啓発活動、理解を示す人への即時の支援活動。活動の内容に対する資金保証。
- ・ 山林整備ボランティアも大切ですが、その業務に専門の機関などを設立してはどうだろうか? 多少収入としては少なくなるかも知れない定年組の方々などでのチ

ーム作りで各地区への配置で常に山の管理がなされていける様な、具体的には営林署が母体の機関？市町村？などいかがでしょう

- ・ 森林事業従業者の方の必要と思われる事業最優先
- ・ 林業従事者を積極的に招き入れる．そのための研修や補助、助成金等を制度化する
- ・ 古来その土地に生えていた木を植える運動（広葉樹に限らず）
- ・ 動物、鳥類の食べ物になる木を植えること
- ・ 間伐材を利用して、川、海に魚のすみかを作って欲しいです．山、川、海が昔のように元気になって欲しいです
- ・ 木材の価格が上がれば林業は活性化する．木造住宅建設に助成してはどうか．それも建設費の 1/3 位の助成でなければ飛びついて来ないであろう
- ・ 住宅において、高知県の木材を低いコストで作し、大いに使えば、再び木材等の利用も多く、林業も良い方向へすすむのではないのでしょうか？
- ・ 森林整備をしてこそ木材利用が出来るので、そちらに重きを置いてもらいたい．ソフト事業、担い手育成支援は大いにしてもらいたい
- ・ 森林所有者への管理費の支援が必要だと思う

【問 11 次期森林環境税の徴収期間】

問 11 では、2008 年度以降に森林環境税を継続する場合、その徴収期間をどの程度にすべきかを問いかけている．5 年が最も多く、39%を占めているが、10 年とすべきとの意見も 30%にのぼる．森林の保全には長期に渡る事業の継続が欠かせないとの認識の浸透をうかがわせる結果である．

問11 次期森林環境税の徴収期間			
区分	回答者数	%	
3年間	114	12.4	
5年間	361	39.2	
8年間	13	1.4	
10年間	281	30.5	
その他	102	11.1	
不明	50	5.4	
合計	921	100.0	

注) この設問は問 8 で 2008 年度以降に森林環境税を継続することに「大いに賛成」「どちらかといえ

ば賛成」「わからない」とした回答者が対象とされているので、これらの総計(921)を母数として比率(%)を計算している。

この設問でも、選択した理由を自由に書き込む欄が設けてある。以下では、選択肢ごとに主な記入例を整理する。3年を選択した回答者は短期で成果をみようとする。5年を選択した回答者は現行の制度を支持し、10年を選択した場合には長期の事業・取り組みの必要性を強調している。その他の場合は、10年以上の期間を望むケースが目立つ。

1) 3年間

- ・ とりあえず3年とし、成果があればその都度継続する方が、より税金を有効に活用できると思うから。あまり長い期間だと、ムダ使いや有効でない所に活用するかもしれないので
- ・ 3年ぐらいで一度見直し等をした方がいいと思うので
- ・ 短年で成果をみて県民の意見を聞く
- ・ 3年計画で森林事業運営を考えて欲しいです。いつまでも森林税を当てにせず、何か事業に結びつけて運営して欲しいです

2) 5年間

- ・ 永続的な制度に向けてのPR第2段階的な意味合いで
- ・ 10年では長い。途中で一度見直しや評価が必要だから
- ・ 制度の見直しをするには5年位が必要かと思われる
- ・ 8・10年は長すぎると思うから
- ・ 今回も5年だったので、5年単位が区切りがよい

3) 8年間

- ・ 長すぎず、短すぎず、ちょうど良い期間だと思います

4) 10年間

- ・ 時間がかかる問題だから
- ・ 一定期間ないと良い悪いが表れにくい
- ・ 3年5年では、間伐整備できないから
- ・ 10年も経過すれば啓発も定着し、保全策も浸透するのでは
- ・ 森林環境税を私としましては、10年間くらいは取組みをやっていかなければ森

林環境整備はなかなか難しいと思います

- ・ 少し長い目でみてゆかないとわからない気がします。10年後評価！
- 5) その他
- ・ 森林環境税 500 円で 10～20 年で効果が期待出来ない。他に対策を考えて下さい。
国、地主、行政などで
 - ・ 森林は 50 年、100 年単位で育つものであって、5 年、10 年の手入れでは意味がないと思う
 - ・ 少なくとも 30 年はすべき
 - ・ 5 年や 10 年で森が守れるとは思わない
 - ・ 森の変化は 10 年以上の期間が必要
 - ・ 期間決めることはせず続けることが必要
 - ・ 状況に応じて判断する
 - ・ いままでの結果が分からない

【問 12 次期森林環境税の県民一人当たりの負担額】

問 12 では、2008 年度以降に森林環境税を継続する場合、1 人あたりの負担額をどの程度にすべきかを問いかけている。6 割を越す回答者は現行の 500 円が望ましいとしているが、1000 円とすべきとする回答者も 2 割を上回る水準となっている。

問12 次期森林環境税の県民一人当たりの負担額			
	区分	回答者数	%
	300円	56	6.1
	500円	581	63.1
	800円	42	4.6
	1000円	185	20.1
	その他	25	2.7
	不明	32	3.5
	合計	921	100.0

注) この設問は問 8 で 2008 年度以降に森林環境税を継続することに「大いに賛成」「どちらかといえば賛成」「わからない」とした回答者が対象とされているので、これらの総計(921)を母数として比率(%)を計算している。

問 12 でも、選択した理由を自由に書き込む欄が設けてある。以下では、選択肢ごとに

主な記入例を整理する。300 円を選んだ回答者は高知県の過疎化高齢化を理由に負担額の引き下げを望む声が多い。500 円の場合には、現行で継続を望む場合やワンコイン感覚（あるいは昼食・弁当 1 食分）の分かりやすさなどがあげられる。800 円を選んだ回答者は、森林保全の規模と比較して負担増が望ましいとする意見が大半である。1000 円を選択した回答者も事業規模を意識して負担増を主張するとともに、1000 円でも負担は可能と判断するケースが多い。

1) 300 円

- ・ 老人の占める割合が高く、年収も全国的平均から考えるととても少ない本県においては、導入済みの他県の金額（一番少ない）300 円が妥当なのでは...
- ・ 過疎化が進んでいる高知県なので、年金生活者に負担の少ない金額
- ・ 私たちは高齢であり、年金もなく職もない

2) 500 円

- ・ 500 円くらいが適当な金額と思う
- ・ 現在使途効果がわからないので現状で 良ければ増額もよい
- ・ 昨今増税が家計を圧迫するなかで適当な協力できる金額ではないかと思えます。
- ・ ワンコイン感覚で受け入れ易いと思われる
- ・ 一食の弁当代でよからう
- ・ 昼飯一回分程度でよい
- ・ “500 円の森作り” 少しの気持ちの継続が大切だと思えます

3) 800 円

- ・ 一日 2 円...と思えばどんな家庭でも負担にはならないと思う
- ・ 税込額が約 1 億 7 千万円では 思い切った事業に取り組めないと思う。
- ・ 森林環境整備の税金は 800 円くらいは取り立てないと十分な環境整備は出来ないと思っています
- ・ 山の多い高知県では、まだまだ間伐が必要だとも思うので

4) 1000 円

- ・ 高知県の森林面積を考えると、今の倍であっても良いのではないのでしょうか
- ・ 500 円では目に見える成果がない
- ・ 多くの事業をすれば 1,000 円が当然

- ・ 働いている人も、そうでない人も年間 1,000 円くらいなら負担しても無理はないと思う
 - ・ これぐらいの額なら負担できる
 - ・ $1,000 \div 12 = 83$ 円 コーヒーより安い。しれたもんじゃ
- 5) その他
- ・ 強力な財源がなければ無理
 - ・ 会計報告を見ていないので妥当性はわからない
 - ・ 前提なきものに、安易に論ずるべきでない

【問 13 次期森林環境税の企業の負担額】

問 13 では、2008 年度以降に森林環境税を継続する場合、企業の負担をどのようにすべきかを問いかけている。現行の制度では、企業の負担は県民と同額とされているが、アンケート結果では、「企業の規模に応じた負担」を望ましいとする回答者が約 6 割を占めている。

問13 次期森林環境税の企業の負担額			
区分	回答者数	%	
県民 企業同額	103	11.2	
企業は県民とは別の定額	146	15.9	
企業の規模に応じた負担	550	59.7	
わからない	71	7.7	
その他	20	2.2	
不明	31	3.4	
合計	921	100.0	

注) この設問は問 8 で 2008 年度以降に森林環境税を継続することに「大いに賛成」「どちらかといえば賛成」「わからない」とした回答者が対象とされているので、これらの総計(921)を母数として比率(%)を計算している。

問 13 の選択理由についても以下に主なものを整理した。企業と県民が同額でよいとする回答者は、不況をその理由にする場合が多い。定額でも県民と企業に差をつけるべきとする回答者は水の利用のあり方の差などから企業の負担増を望んでいる。企業の規模に応じた負担を支持する回答者は一種の公平感から大企業には大きな負担を求める傾向が強い。「わからない」とする回答者からは県民と企業に課税することが二重課税になるのではないかとの指摘があり注目される。

1) 県民，企業とも同額の負担でよい

- ・ 景気の悪い県内にはとりあえず一律でよい．働く会社 従業員（県民） 税金
と思います
- ・ 現在の不況では別に金銭差額なくてよいではないか
- ・ 企業でも赤字の会社があるので今のままだも良いと思います
- ・ 企業の中にいる人達は、それぞれ個人で負担しているわけだから企業も同額で
よい

2) 企業は個人と別の定額にすべき

- ・ 少しは企業の負担が多くても良いと思います
- ・ 企業には個人より税負担を望む
- ・ 個人と同額はおかしい
- ・ 企業は共有する命の水を個人と違って利益目的に使用するので

3) 企業の規模に応じた負担とすべき

- ・ 企業は最近多くの利益を上げているという．もうけている企業には負担していただいて良いのではないか
- ・ 定額は不公平と思う
- ・ 払える余裕のある所からたくさん徴収すべきだから
- ・ 収入にみあった負担が公平と思う
- ・ 企業は当然社会的責任を持つべきだと考えますから．大企業には応分の負担をすべきだと思います

4) わからない

- ・ 企業の社員および役員もすでに支払っているのだから、特に企業としてはどうかと思う
- ・ 最低額は 500 円として、それ以上は個人、企業の自由額でいいではないでしょうか
- ・ 大半の企業が同族会社かそれに近い中小企業で実質的に二重課税になる．
- ・ 18 年度税制改正により、中小法人に対しての課税が増えた．企業には経済活動、雇用の増大などで社会貢献してもらい、安易な増税はこれらにマイナスになる．企業に勤める従業員も役員もこの税を払っているのだから、企業の規模によらず

法人には課税しない．環境負荷は企業活動ではなく、個人の日常生活から生じる割合が大きい．

- ・ 個人単位が原則

【問 14 次期森林環境税の企業負担(個人とは別の定額)】

問 14 では、問 13 で「企業は県民と別の定額」にすべきとした回答者に対し、企業の負担をどのようにすべきかを問いかけている．1000 円、3000 円、5000 円を支持する比率がほぼ拮抗している．

区分	回答者数	%
300円	0	0.0
500円	6	4.1
1000円	43	29.5
1500円	15	10.3
3000円	41	28.1
4000円	0	0.0
5000円	35	24.0
その他	6	4.1
不明	0	0.0
合計	146	100

注) この設問は問 13 で「企業は県民と別の定額にすべき」とした回答者が対象とされているので、その総計(146)を母数として比率(%)を計算している．

問 14 にも、選択した理由を問う自由記入欄がある．1000 円を支持する回答者は企業が
多く負担すべきであるとし、1500 円を望む回答者はやや水準を抑えてこの金額が妥当と
する．3000 円、5000 円を妥当とする回答者は、企業の社会的な立場からこの水準の負
担を妥当とする．

- 1) 300 円
回答者なし
- 2) 500 円
記述なし
- 3) 1000 円

- ・ 個人よりは大きい負担にするのが妥当
 - ・ 個人 2 倍程度
- 4) 1500 円
- ・ 多すぎると企業が不満を持たれるから
 - ・ 企業側もたいへんだと思う
- 5) 3000 円
- ・ 個人よりも環境に対する負荷が大きいから
 - ・ 多すぎず、少なすぎずで 3000 円くらいで様子を見れば良いと思う
- 6) 4000 円
- 回答者なし
- 7) 5000 円
- ・ 企業は、環境保護に積極的に参加すべきだと思う
 - ・ 大きな負担にはならない金額だと思うから
 - ・ 企業は個人と違い、自然の恩恵をより多く受けている
 - ・ 欧米並みに社会に還元すべきだから

【問 15 次期森林環境税の企業負担（企業規模に応じた場合）】

問 15 では、問 13 で「企業の規模に応じた負担とすべき」とした回答者に対し、その負担の水準を問いかけている。法人県民税均等割りの 3%と 5%を支持する比率がいずれも 3 割強の水準にある。

問15 次期森林環境税の企業負担 (企業規模に応じた場合)			
	区分	回答者数	%
	法人県民税均等割り 3%	196	35.6
	法人県民税均等割り 4%	59	10.7
	法人県民税均等割り 5%	183	33.3
	その他	34	6.2
	不明	78	14.2
	合計	550	100.0

注) この設問は問 13 で「企業の規模に応じた負担」と回答した者だけが対象とされているので、その総計 (550) を母数として比率 (%) を計算している。

問 15 の選択理由を問う自由記入欄について主な記述を整理した。低めの負担割合を選択した回答者は企業の負担能力への配慮をみせる一方で、高めの割合を選択した回答者は負担は可能である、あるいは、負担して欲しいとの立場を明確にしている。

1) 法人県民税均等割りの 3%

- ・ 高知にそんなに安定した大企業があるとは思えないので、企業にとってもそんなに負担にならない範囲にすべきだと思います
- ・ 企業の負担も軽いほうが良い
- ・ 3% 1,800 万円の増収であれば活動の一部に寄与できるのでは
- ・ 3%くらいなら納得してもらえないのではないのでしょうか？

2) 法人県民税均等割りの 4%

- ・ 企業の大・小規模に応じて負担をしてもらうのが良いと思います。4%から始めて、結果を見てから考えるのが良いと思います

3) 法人県民税均等割りの 5%

- ・ 5%程度なら、支払える額だと思う
- ・ その程度の負担は可能と思う
- ・ 企業にも、この位は協力してほしい。自分たちが生きている所を守る為にも、ぜひ!!
- ・ 中途半端な微税では効果も浅い

4) その他

- ・ “法人県民税均等割の XX%” とか、下表の試算を出されても、分からない。けんとうがつけられない。選択の金割がよく理解できないので選べない
- ・ 具体的な割合については、県で検討しろ
- ・ 企業の事については基準が分かりません

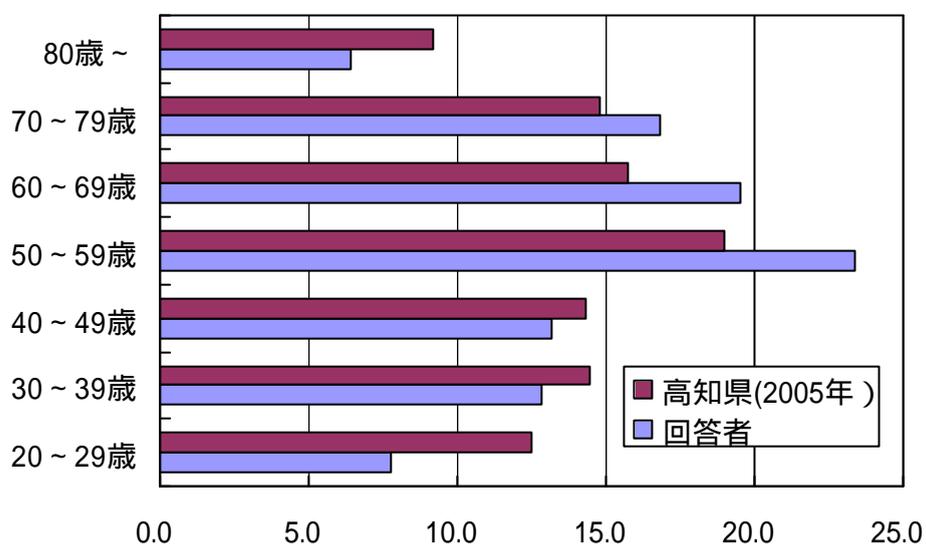
【問 16 性別】

回答者の性別は不明を除くと、男女比が 45.2%、54.8%となっている。これは 2005 年 10 月時点の高知県の成人男女の比率 46.2%、53.8%と差異はなく、男女比にバイアスは認められない。

問16 性別			
区分	回答者数	%	
男	408	40.8	
女	494	49.4	
不明	99	9.9	
合計	1001	100	

【問 17 年齢】

下の図は、回答者の年齢構成を2005年10月の高知県成人の年齢構成と比較したものである。20歳代の回答者の比率が低く、50歳～70歳代の回答者の比率が高くなっているのがわかる。中高年齢層にバイアスがかかった回答である点は留意したい。



問17 年齢			
区分	回答者数	%	
20～29歳	70	7	
30～39歳	116	11.6	
40～49歳	119	11.9	
50～59歳	211	21.1	
60～69歳	176	17.6	
70～79歳	152	15.2	
80歳～	58	5.8	
不明	99	9.9	
合計	1001	100	

【問 18 住んでいる市町村】

回答者の市町村分布は下の表の通りである。2005年10月の人口データによれば、高知県の成人の約42%は高知市内に居住しているので、回答者の分布はやや都市部以外のウ

エイトが高くなっている。

問18 住んでいる市町村		
区分	回答者数	%
高知市	353	35.3
室戸市	16	1.6
安芸市	23	2.3
南国市	50	5.0
土佐市	22	2.2
須崎市	26	2.6
宿毛市	27	2.7
土佐清水市	18	1.8
四万十市	39	3.9
香南市	44	4.4
香美市	41	4.1
東洋町	4	0.4
奈半利市	4	0.4
田野町	4	0.4
安田町	0	0.0
北川村	2	0.2
馬路村	0	0.0
芸西村	4	0.4
本山町	5	0.5
大豊町	7	0.7
土佐町	5	0.5
大川村	0	0.0
春野町	21	2.1
いの町	29	2.9
仁淀川町	8	0.8
中土佐町	4	0.4
佐川町	16	1.6
越知町	9	0.9
檮原町	7	0.7
日高村	8	0.8
津野町	6	0.6
四万十町	30	3.0
大月町	4	0.4
三原村	0	0.0
黒潮町	8	0.8
不明	0	0.0
合計	1001	100

【問 19 職業】

職業の区分については、「その他」が異常に多くなっており、十分なデータとなっていないが、農業、サービス業、公務員などの比率が高い。

問19 職業			
SA			
区分	回答者数	%	
農業	128	12.8	
林業	5	0.5	
漁業	7	0.7	
建設業	43	4.3	
製造業	25	2.5	
電気ガス水道業	9	0.9	
運輸通信業	16	1.6	
卸売小売飲食業	30	3.0	
保険金融不動産業	19	1.9	
サービス業	85	8.5	
公務員	83	8.3	
その他	429	42.9	
不明	122	12.2	
合計	1001	100	

【問 20 県内に森林を所有しているか】

森林所有については、回答者の 4 名に 1 名が所有している状況にある。

問20 県内に森林を所有しているか			
区分	回答者数	%	
所有している	263	26.3	
所有していない	630	62.9	
不明	108	10.8	
合計	1001	100	

(2) クロス集計分析 - 回答者の属性とのクロス分析 -

以下では、問 16 (性別), 問 17 (年齢), 問 18 (居住する市町村), 問 20 (森林所有の有無) を軸にして、次の設問とのクロス集計分析を行う²。

- ・ 問 2 「森林環境税」の導入を知っていた
- ・ 問 4 身の回りの森に関心・興味はあるか
- ・ 問 5 植樹や間伐のボランティア活動に参加したことはあるか
- ・ 問 6-A1 広報や情報発信事業を知っていたか
- ・ 問 6-A2 広報や情報発信に対する意見
- ・ 問 6-B1 森林保全の県民の活動支援を知っていたか

² なお、職業も回答者の属性のひとつであるが、4 割を超える回答者がその他と答えているため、集計値の分析がむずかしく、分析結果を割愛した。

- ・ 問 6-B1 森林保全の県民の活動支援に対する意見
- ・ 問 6-C1 子供たちへの森林環境学習支援を知っていたか
- ・ 問 6-C2 子供たちへの森林環境学習支援に対する意見
- ・ 問 6-D1 ダムの上流などでの間伐事業を知っていたか
- ・ 問 6-D2 ダムの上流などでの間伐事業に対する意見
- ・ 問 6-E1 荒廃竹林・山里などの整備事業を知っていたか
- ・ 問 6-E2 荒廃竹林・山里などの整備事業に対する意見
- ・ 問 6-F1 森林ボランティア設立や活動支援事業を知っていたか
- ・ 問 6-F2 森林ボランティア設立や活動支援事業に対する意見
- ・ 問 7 森林環境税に対する評価
- ・ 問 8 森林環境税 H20. 4 以降の継続に対する意見

【性別を軸にしたクロス集計分析】

まず、問 2、問 4、問 5 とのクロス分析結果を下の表に整理した。ここで軸となる性別は表側に、共通に比較する項目は表頭に配置されている。表の数値は回答者数を示し、括弧内の数値は軸となる項目（下の表では性別）ごとにその構成比を示している。例えば、下の表でいえば、男女それぞれの回答者数を 100 として、森林環境税を「知っていた」とする回答者、「知らなかった」とする回答者、不明の回答者の比率を示している。こうした表の構成は以下の分析でも同様である。

下の表から容易に読み取れることは男性の森林問題に対する関心の高さである。問 2 からは森林環境税への関心の高さが女性より 20%も高い点を確認できる。問 4 とのクロス集計からは、森に関心があるとする比率が 10%以上開いている。問 5 とのクロス集計によれば、男性回答者の 15%がボランティアを経験しているとし、女性の 8.5%を遥かに凌いでいる。

問 2 「森林環境税」の導入を知っていたか × 問16 性別					
	回答者数 (%)	問 2 「森林環境税」の導入を知っていたか			
		合計	知っていた	知らなかった	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	626(62.5)	365(36.5)	10(1.0)
	男	408(100.0)	298(73.0)	108(26.5)	2(0.5)
	女	494(100.0)	265(53.6)	224(45.3)	5(1.0)
	不明	99(100.0)	63(63.6)	33(33.3)	3(3.0)

問4 身の回りの森に関心・興味はあるか × 問16 性別		問4 身の回りの森に関心・興味はあるか						
	回答者数 (%)	合計	非常に関心がある	関心がある	どちらとも言えない	あまり関心がない	全く関心がない	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	150(15.0)	539(53.8)	177(17.7)	118(11.8)	10(1.0)	7(0.7)
	男	408(100.0)	79(19.4)	228(55.9)	48(11.8)	46(11.3)	4(1.0)	3(0.7)
	女	494(100.0)	53(10.7)	255(51.6)	116(23.5)	62(12.6)	6(1.2)	2(0.4)
	不明	99(100.0)	18(18.2)	56(56.6)	13(13.1)	10(10.1)	-(-)	2(2.0)

問5 植樹や間伐のボランティア活動に参加したことはあるか × 問16 性別		問5 植樹や間伐のボランティア活動に参加したことはあるか			
	回答者数 (%)	合計	ある	ない	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	112(11.2)	881(88.0)	8(0.8)
	男	408(100.0)	60(14.7)	345(84.6)	3(0.7)
	女	494(100.0)	42(8.5)	450(91.1)	2(0.4)
	不明	99(100.0)	10(10.1)	86(86.9)	3(3.0)

問6 との集計結果を以下の各表にまとめた。問6 では現行の森林環境税による事業の周知度と今後のあり方を問いかけているが、ほとんどの表において、事業の周知度や事業を今後「充実」させるべきとする男性回答者の比率は女性のそれを上回り、森林に関する事業への関心度や積極性をうかがわせる。例外は問6-D2 ダムの上流などでの間伐事業に対する意見、問6-E2 荒廃竹林・山里などの整備事業に対する意見であり、男女間の差異はほとんど認められない。

問6 - A1 【広報や情報発信】知っていたか × 問16 性別		問6 - A1 【広報や情報発信】知っていたか			
	回答者数 (%)	合計	はい	いいえ	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	458(45.8)	543(54.2)	-(-)
	男	408(100.0)	210(51.5)	198(48.5)	-(-)
	女	494(100.0)	210(42.5)	284(57.5)	-(-)
	不明	99(100.0)	38(38.4)	61(61.6)	-(-)

問6 - A2 【広報や情報発信】に対する意見 × 問16 性別		問6 - A2 【広報や情報発信】に対する意見						
	回答者数 (%)	合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	354(35.4)	357(35.7)	52(5.2)	18(1.8)	53(5.3)	167(16.7)
	男	408(100.0)	157(38.5)	139(34.1)	24(5.9)	11(2.7)	14(3.4)	63(15.4)
	女	494(100.0)	162(32.8)	186(37.7)	26(5.3)	5(1.0)	35(7.1)	80(16.2)
	不明	99(100.0)	35(35.4)	32(32.3)	2(2.0)	2(2.0)	4(4.0)	24(24.2)

問6 - B1 【森林保全の県民の活動支援】知っていたか × 問16 性別		問6 - B1 【森林保全の県民の活動支援】知っていたか			
	回答者数 (%)	合計	はい	いいえ	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	227(22.7)	773(77.2)	1(0.1)
	男	408(100.0)	112(27.5)	296(72.5)	-(-)
	女	494(100.0)	91(18.4)	402(81.4)	1(0.2)
	不明	99(100.0)	24(24.2)	75(75.8)	-(-)

問6 - B 2 【森林保全の県民の活動支援】 に対する意見 × 問16 性別								
回答者数 (%)		問6 - B 2 【森林保全の県民の活動支援】 に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	439(43.9)	251(25.1)	13(1.3)	11(1.1)	70(7.0)	217(21.7)
	男	408(100.0)	183(44.9)	104(25.5)	5(1.2)	8(2.0)	25(6.1)	83(20.3)
	女	494(100.0)	215(43.5)	124(25.1)	7(1.4)	3(0.6)	40(8.1)	105(21.3)
	不明	99(100.0)	41(41.4)	23(23.2)	1(1.0)	-(-)	5(5.1)	29(29.3)

問6 - C 1 【子供たちへの森林環境学習支援】 知っていたか × 問16 性別					
回答者数 (%)		問6 - C 1 【子供たちへの森林環境学習支援】 知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	338(33.8)	662(66.1)	1(0.1)
	男	408(100.0)	142(34.8)	266(65.2)	-(-)
	女	494(100.0)	162(32.8)	331(67.0)	1(0.2)
	不明	99(100.0)	34(34.3)	65(65.7)	-(-)

問6 - C 2 【子供たちへの森林環境学習支援】 に対する意見 × 問16 性別								
回答者数 (%)		問6 - C 2 【子供たちへの森林環境学習支援】 に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	513(51.2)	239(23.9)	7(0.7)	8(0.8)	45(4.5)	189(18.9)
	男	408(100.0)	217(53.2)	85(20.8)	3(0.7)	7(1.7)	18(4.4)	78(19.1)
	女	494(100.0)	245(49.6)	130(26.3)	4(0.8)	1(0.2)	24(4.9)	90(18.2)
	不明	99(100.0)	51(51.5)	24(24.2)	-(-)	-(-)	3(3.0)	21(21.2)

問6 - D 1 【ダムの上流などへの間伐実施】 知っていたか × 問16 性別					
回答者数 (%)		問6 - D 1 【ダムの上流などへの間伐実施】 知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	254(25.4)	743(74.2)	4(0.4)
	男	408(100.0)	128(31.4)	278(68.1)	2(0.5)
	女	494(100.0)	99(20.0)	393(79.6)	2(0.4)
	不明	99(100.0)	27(27.3)	72(72.7)	-(-)

問6 - D 2 【ダムの上流などへの間伐実施】 に対する意見 × 問16 性別								
回答者数 (%)		問6 - D 2 【ダムの上流などへの間伐実施】 に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	505(50.4)	190(19.0)	12(1.2)	10(1.0)	65(6.5)	219(21.9)
	男	408(100.0)	206(50.5)	74(18.1)	5(1.2)	7(1.7)	25(6.1)	91(22.3)
	女	494(100.0)	249(50.4)	100(20.2)	7(1.4)	2(0.4)	35(7.1)	101(20.4)
	不明	99(100.0)	50(50.5)	16(16.2)	-(-)	1(1.0)	5(5.1)	27(27.3)

問6 - E 1 【荒廃竹林・山里などの整備】 知っていたか × 問16 性別					
回答者数 (%)		問6 - E 1 【荒廃竹林・山里などの整備】 知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	295(29.5)	701(70.0)	5(0.5)
	男	408(100.0)	137(33.6)	269(65.9)	2(0.5)
	女	494(100.0)	131(26.5)	360(72.9)	3(0.6)
	不明	99(100.0)	27(27.3)	72(72.7)	-(-)

問6 - E 2 【荒廃竹林・山里などの整備】 に対する意見 × 問16 性別								
回答者数 (%)		問6 - E 2 【荒廃竹林・山里などの整備】 に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	570(56.9)	165(16.5)	8(0.8)	7(0.7)	60(6.0)	191(19.1)
	男	408(100.0)	234(57.4)	70(17.2)	4(1.0)	5(1.2)	23(5.6)	72(17.6)
	女	494(100.0)	284(57.5)	81(16.4)	4(0.8)	2(0.4)	30(6.1)	93(18.8)
	不明	99(100.0)	52(52.5)	14(14.1)	-(-)	-(-)	7(7.1)	26(26.3)

問6 - F1 【森林ボランティア設立や活動支援】 知っていたか × 問16 性別					
回答者数 (%)		問6 - F1 【森林ボランティア設立や活動支援】 知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	244(24.4)	754(75.3)	3(0.3)
	男	408(100.0)	109(26.7)	298(73.0)	1(0.2)
	女	494(100.0)	110(22.3)	382(77.3)	2(0.4)
	不明	99(100.0)	25(25.3)	74(74.7)	-(-)

問6 - F2 【森林ボランティア設立や活動支援】 に対する意見 × 問16 性別								
回答者数 (%)		問6 - F2 【森林ボランティア設立や活動支援】 に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	421(42.1)	270(27.0)	17(1.7)	10(1.0)	77(7.7)	206(20.6)
	男	408(100.0)	172(42.2)	115(28.2)	5(1.2)	7(1.7)	29(7.1)	80(19.6)
	女	494(100.0)	201(40.7)	136(27.5)	12(2.4)	2(0.4)	43(8.7)	100(20.2)
	不明	99(100.0)	48(48.5)	19(19.2)	-(-)	1(1.0)	5(5.1)	26(26.3)

問7 森林環境税に対する評価，問8 森林環境税H20.4以降の継続に対する意見についても傾向は変わらない．男性回答者の現行税制に対する高い評価や今後の継続を支持する割合は女性回答者のそれより高い．

問7 森林環境税に対する評価 × 問16 性別								
回答者数 (%)		問7 森林環境税に対する評価						
		合計	大いに賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	357(35.7)	451(45.1)	23(2.3)	16(1.6)	118(11.8)	36(3.6)
	男	408(100.0)	152(37.3)	180(44.1)	14(3.4)	11(2.7)	34(8.3)	17(4.2)
	女	494(100.0)	163(33.0)	227(46.0)	9(1.8)	4(0.8)	74(15.0)	17(3.4)
	不明	99(100.0)	42(42.4)	44(44.4)	-(-)	1(1.0)	10(10.1)	2(2.0)

問8 森林環境税H20.4以降の継続に対して × 問16 性別								
回答者数 (%)		問8 森林環境税H20.4以降の継続に対して						
		合計	大いに賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	不明
問16 性別	合計	1001(100.0)	452(45.2)	383(38.3)	33(3.3)	24(2.4)	86(8.6)	23(2.3)
	男	408(100.0)	192(47.1)	151(37.0)	18(4.4)	13(3.2)	26(6.4)	8(2.0)
	女	494(100.0)	205(41.5)	204(41.3)	13(2.6)	9(1.8)	51(10.3)	12(2.4)
	不明	99(100.0)	55(55.6)	28(28.3)	2(2.0)	2(2.0)	9(9.1)	3(3.0)

【年齢を軸にしたクロス集計分析】

次に回答者の年齢を軸にしたクロス集計分析の結果をまとめる．問2，問4，問5とのクロス集計からは，年齢と森林環境税の周知度，森林への関心，ボランティアへの参加割合は比例関係にあることがわかる．ただし，80歳代以上の層については，いずれの割合も低く，こうした比例関係は認められない．

問2 「森林環境税」の導入を知っていたか × 問17 年齢					
	回答者数 (%)	問2 「森林環境税」の導入を知っていたか			
		合計	知っていた	知らなかった	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	626(62.5)	365(36.5)	10(1.0)
	20～29歳	70(100.0)	32(45.7)	38(54.3)	-(-)
	30～39歳	116(100.0)	48(41.4)	68(58.6)	-(-)
	40～49歳	119(100.0)	65(54.6)	54(45.4)	-(-)
	50～59歳	211(100.0)	138(65.4)	72(34.1)	1(0.5)
	60～69歳	176(100.0)	131(74.4)	44(25.0)	1(0.6)
	70～79歳	152(100.0)	112(73.7)	36(23.7)	4(2.6)
	80歳～	58(100.0)	36(62.1)	21(36.2)	1(1.7)
	不明	99(100.0)	64(64.6)	32(32.3)	3(3.0)

問4 身の回りの森に関心・興味はあるか × 問17 年齢								
	回答者数 (%)	問4 身の回りの森に関心・興味はあるか						
		合計	非常に関心がある	関心がある	どちらとも言えない	あまり関心がない	全く関心がない	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	150(15.0)	539(53.8)	177(17.7)	118(11.8)	10(1.0)	7(0.7)
	20～29歳	70(100.0)	3(4.3)	30(42.9)	19(27.1)	13(18.6)	5(7.1)	-(-)
	30～39歳	116(100.0)	6(5.2)	51(44.0)	33(28.4)	22(19.0)	4(3.4)	-(-)
	40～49歳	119(100.0)	15(12.6)	59(49.6)	23(19.3)	21(17.6)	1(0.8)	-(-)
	50～59歳	211(100.0)	31(14.7)	111(52.6)	41(19.4)	26(12.3)	-(-)	2(0.9)
	60～69歳	176(100.0)	27(15.3)	117(66.5)	22(12.5)	10(5.7)	-(-)	-(-)
	70～79歳	152(100.0)	38(25.0)	82(53.9)	21(13.8)	9(5.9)	-(-)	2(1.3)
	80歳～	58(100.0)	12(20.7)	32(55.2)	5(8.6)	8(13.8)	-(-)	1(1.7)
	不明	99(100.0)	18(18.2)	57(57.6)	13(13.1)	9(9.1)	-(-)	2(2.0)

問5 植樹や間伐のボランティア活動に参加したことはあるか × 問17 年齢					
	回答者数 (%)	問5 植樹や間伐のボランティア活動に参加したことはあるか			
		合計	ある	ない	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	112(11.2)	881(88.0)	8(0.8)
	20～29歳	70(100.0)	6(8.6)	64(91.4)	-(-)
	30～39歳	116(100.0)	9(7.8)	107(92.2)	-(-)
	40～49歳	119(100.0)	11(9.2)	108(90.8)	-(-)
	50～59歳	211(100.0)	22(10.4)	187(88.6)	2(0.9)
	60～69歳	176(100.0)	22(12.5)	154(87.5)	-(-)
	70～79歳	152(100.0)	22(14.5)	128(84.2)	2(1.3)
	80歳～	58(100.0)	9(15.5)	48(82.8)	1(1.7)
	不明	99(100.0)	11(11.1)	85(85.9)	3(3.0)

現行の森林環境税の事業の認知度や今後のあり方を問いかけた問6 とのクロス集計結果はやや複雑である（以下の各表を参照）。各事業を知っていたかどうかの問いかけに対して、50歳～60歳代の回答者はいずれも回答者の平均値以上の割合で「知っていた」としており、この層の事業に対する認知度の高さがわかる。また、今後の事業を充実すべきとする割合は40歳～50歳代の回答者で比較的高く、かつ、安定的である。すなわち、これらの年齢階層で、事業を充実すべきとする割合は広報事業やボランティア支援事業以外の事業ですべて回答者平均を上回っている。このほか、問6-C2 とのクロス集計結

果では、森林環境教育を今後充実すべきとする層が30歳代で突出している。しかも、この事業は50歳代までの年齢層に強く支持されており注目される。

問6-A1 【広報や情報発信】知っていたか × 問17 年齢		問6-A1 【広報や情報発信】知っていたか			
	回答者数 (%)	合計	はい	いいえ	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	458(45.8)	543(54.2)	-(-)
	20～29歳	70(100.0)	34(48.6)	36(51.4)	-(-)
	30～39歳	116(100.0)	44(37.9)	72(62.1)	-(-)
	40～49歳	119(100.0)	60(50.4)	59(49.6)	-(-)
	50～59歳	211(100.0)	102(48.3)	109(51.7)	-(-)
	60～69歳	176(100.0)	85(48.3)	91(51.7)	-(-)
	70～79歳	152(100.0)	67(44.1)	85(55.9)	-(-)
	80歳～ 不明	58(100.0) 99(100.0)	27(46.6) 39(39.4)	31(53.4) 60(60.6)	-(-) -(-)

問6-A2 【広報や情報発信】 に対する意見 × 問17 年齢		問6-A2 【広報や情報発信】 に対する意見						
	回答者数 (%)	合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	354(35.4)	357(35.7)	52(5.2)	18(1.8)	53(5.3)	167(16.7)
	20～29歳	70(100.0)	25(35.7)	27(38.6)	3(4.3)	3(4.3)	6(8.6)	6(8.6)
	30～39歳	116(100.0)	42(36.2)	46(39.7)	7(6.0)	2(1.7)	10(8.6)	9(7.8)
	40～49歳	119(100.0)	31(26.1)	56(47.1)	12(10.1)	4(3.4)	8(6.7)	8(6.7)
	50～59歳	211(100.0)	80(37.9)	72(34.1)	16(7.6)	5(2.4)	10(4.7)	28(13.3)
	60～69歳	176(100.0)	55(31.3)	65(36.9)	10(5.7)	1(0.6)	7(4.0)	38(21.6)
	70～79歳	152(100.0)	63(41.4)	38(25.0)	1(0.7)	-(-)	6(3.9)	44(28.9)
	80歳～ 不明	58(100.0) 99(100.0)	23(39.7) 35(35.4)	20(34.5) 33(33.3)	1(1.7) 2(2.0)	1(1.7) 2(2.0)	2(3.4) 4(4.0)	11(19.0) 23(23.2)

問6-B1 【森林保全の県民の活動支援】知っていたか × 問17 年齢		問6-B1 【森林保全の県民の活動支援】知っていたか			
	回答者数 (%)	合計	はい	いいえ	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	227(22.7)	773(77.2)	1(0.1)
	20～29歳	70(100.0)	10(14.3)	59(84.3)	1(1.4)
	30～39歳	116(100.0)	15(12.9)	101(87.1)	-(-)
	40～49歳	119(100.0)	21(17.6)	98(82.4)	-(-)
	50～59歳	211(100.0)	54(25.6)	157(74.4)	-(-)
	60～69歳	176(100.0)	52(29.5)	124(70.5)	-(-)
	70～79歳	152(100.0)	38(25.0)	114(75.0)	-(-)
	80歳～ 不明	58(100.0) 99(100.0)	13(22.4) 24(24.2)	45(77.6) 75(75.8)	-(-) -(-)

問6-B2 【森林保全の県民の活動支援】 に対する意見 × 問17 年齢		問6-B2 【森林保全の県民の活動支援】 に対する意見						
	回答者数 (%)	合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	439(43.9)	251(25.1)	13(1.3)	11(1.1)	70(7.0)	217(21.7)
	20～29歳	70(100.0)	28(40.0)	19(27.1)	1(1.4)	1(1.4)	9(12.9)	12(17.1)
	30～39歳	116(100.0)	52(44.8)	31(26.7)	2(1.7)	-(-)	15(12.9)	16(13.8)
	40～49歳	119(100.0)	57(47.9)	31(26.1)	2(1.7)	3(2.5)	9(7.6)	17(14.3)
	50～59歳	211(100.0)	99(46.9)	56(26.5)	6(2.8)	3(1.4)	12(5.7)	35(16.6)
	60～69歳	176(100.0)	75(42.6)	52(29.5)	1(0.6)	2(1.1)	7(4.0)	39(22.2)
	70～79歳	152(100.0)	58(38.2)	32(21.1)	-(-)	2(1.3)	8(5.3)	52(34.2)
	80歳～ 不明	58(100.0) 99(100.0)	29(50.0) 41(41.4)	7(12.1) 23(23.2)	-(-) 1(1.0)	-(-) -(-)	5(8.6) 5(5.1)	17(29.3) 29(29.3)

問6 - C 1 【子供たちへの森林環境学習支援】知っていたか × 問17 年齢					
回答者数 (%)		問6 - C 1 【子供たちへの森林環境学習支援】知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	338(33.8)	662(66.1)	1(0.1)
	20～29歳	70(100.0)	19(27.1)	50(71.4)	1(1.4)
	30～39歳	116(100.0)	31(26.7)	85(73.3)	-(-)
	40～49歳	119(100.0)	41(34.5)	78(65.5)	-(-)
	50～59歳	211(100.0)	79(37.4)	132(62.6)	-(-)
	60～69歳	176(100.0)	66(37.5)	110(62.5)	-(-)
	70～79歳	152(100.0)	47(30.9)	105(69.1)	-(-)
	80歳～	58(100.0)	21(36.2)	37(63.8)	-(-)
	不明	99(100.0)	34(34.3)	65(65.7)	-(-)

問6 - C 2 【子供たちへの森林環境学習支援】に対する意見 × 問17 年齢								
回答者数 (%)		問6 - C 2 【子供たちへの森林環境学習支援】に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	513(51.2)	239(23.9)	7(0.7)	8(0.8)	45(4.5)	189(18.9)
	20～29歳	70(100.0)	37(52.9)	14(20.0)	-(-)	-(-)	7(10.0)	12(17.1)
	30～39歳	116(100.0)	71(61.2)	25(21.6)	3(2.6)	-(-)	7(6.0)	10(8.6)
	40～49歳	119(100.0)	63(52.9)	36(30.3)	-(-)	2(1.7)	6(5.0)	12(10.1)
	50～59歳	211(100.0)	111(52.6)	53(25.1)	2(0.9)	4(1.9)	10(4.7)	31(14.7)
	60～69歳	176(100.0)	86(48.9)	44(25.0)	1(0.6)	2(1.1)	4(2.3)	39(22.2)
	70～79歳	152(100.0)	62(40.8)	33(21.7)	1(0.7)	-(-)	4(2.6)	52(34.2)
	80歳～	58(100.0)	32(55.2)	10(17.2)	-(-)	-(-)	4(6.9)	12(20.7)
	不明	99(100.0)	51(51.5)	24(24.2)	-(-)	-(-)	3(3.0)	21(21.2)

問6 - D 1 【ダムの上流などへの間伐実施】知っていたか × 問17 年齢					
回答者数 (%)		問6 - D 1 【ダムの上流などへの間伐実施】知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	254(25.4)	743(74.2)	4(0.4)
	20～29歳	70(100.0)	11(15.7)	58(82.9)	1(1.4)
	30～39歳	116(100.0)	16(13.8)	99(85.3)	1(0.9)
	40～49歳	119(100.0)	30(25.2)	89(74.8)	-(-)
	50～59歳	211(100.0)	57(27.0)	154(73.0)	-(-)
	60～69歳	176(100.0)	51(29.0)	125(71.0)	-(-)
	70～79歳	152(100.0)	48(31.6)	102(67.1)	2(1.3)
	80歳～	58(100.0)	14(24.1)	44(75.9)	-(-)
	不明	99(100.0)	27(27.3)	72(72.7)	-(-)

問6 - D 2 【ダムの上流などへの間伐実施】に対する意見 × 問17 年齢								
回答者数 (%)		問6 - D 2 【ダムの上流などへの間伐実施】に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	505(50.4)	190(19.0)	12(1.2)	10(1.0)	65(6.5)	219(21.9)
	20～29歳	70(100.0)	34(48.6)	17(24.3)	2(2.9)	-(-)	8(11.4)	9(12.9)
	30～39歳	116(100.0)	53(45.7)	31(26.7)	2(1.7)	-(-)	12(10.3)	18(15.5)
	40～49歳	119(100.0)	65(54.6)	24(20.2)	2(1.7)	3(2.5)	10(8.4)	15(12.6)
	50～59歳	211(100.0)	112(53.1)	44(20.9)	4(1.9)	3(1.4)	14(6.6)	34(16.1)
	60～69歳	176(100.0)	90(51.1)	30(17.0)	2(1.1)	2(1.1)	7(4.0)	45(25.6)
	70～79歳	152(100.0)	72(47.4)	21(13.8)	-(-)	1(0.7)	5(3.3)	53(34.9)
	80歳～	58(100.0)	29(50.0)	7(12.1)	-(-)	-(-)	4(6.9)	18(31.0)
	不明	99(100.0)	50(50.5)	16(16.2)	-(-)	1(1.0)	5(5.1)	27(27.3)

問6-E1 【荒廃竹林・山里などの整備】 知っていたか × 問17 年齢					
回答者数 (%)		問6-E1 【荒廃竹林・山里などの整備】 知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	295(29.5)	701(70.0)	5(0.5)
	20～29歳	70(100.0)	19(27.1)	50(71.4)	1(1.4)
	30～39歳	116(100.0)	22(19.0)	93(80.2)	1(0.9)
	40～49歳	119(100.0)	23(19.3)	96(80.7)	-(-)
	50～59歳	211(100.0)	74(35.1)	137(64.9)	-(-)
	60～69歳	176(100.0)	57(32.4)	119(67.6)	-(-)
	70～79歳	152(100.0)	52(34.2)	98(64.5)	2(1.3)
	80歳～	58(100.0)	21(36.2)	36(62.1)	1(1.7)
不明	99(100.0)	27(27.3)	72(72.7)	-(-)	

問6-E2 【荒廃竹林・山里などの整備】 に対する意見 × 問17 年齢								
回答者数 (%)		問6-E2 【荒廃竹林・山里などの整備】 に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	570(56.9)	165(16.5)	8(0.8)	7(0.7)	60(6.0)	191(19.1)
	20～29歳	70(100.0)	34(48.6)	19(27.1)	1(1.4)	-(-)	6(8.6)	10(14.3)
	30～39歳	116(100.0)	69(59.5)	22(19.0)	1(0.9)	1(0.9)	9(7.8)	14(12.1)
	40～49歳	119(100.0)	78(65.5)	14(11.8)	-(-)	3(2.5)	10(8.4)	14(11.8)
	50～59歳	211(100.0)	133(63.0)	31(14.7)	4(1.9)	3(1.4)	12(5.7)	28(13.3)
	60～69歳	176(100.0)	95(54.0)	37(21.0)	-(-)	-(-)	8(4.5)	36(20.5)
	70～79歳	152(100.0)	76(50.0)	22(14.5)	2(1.3)	-(-)	5(3.3)	47(30.9)
	80歳～	58(100.0)	33(56.9)	6(10.3)	-(-)	-(-)	3(5.2)	16(27.6)
不明	99(100.0)	52(52.5)	14(14.1)	-(-)	-(-)	7(7.1)	26(26.3)	

問6-F1 【森林ボランティア設立や活動支援】 知っていたか × 問17 年齢					
回答者数 (%)		問6-F1 【森林ボランティア設立や活動支援】 知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	244(24.4)	754(75.3)	3(0.3)
	20～29歳	70(100.0)	12(17.1)	57(81.4)	1(1.4)
	30～39歳	116(100.0)	22(19.0)	94(81.0)	-(-)
	40～49歳	119(100.0)	24(20.2)	95(79.8)	-(-)
	50～59歳	211(100.0)	53(25.1)	158(74.9)	-(-)
	60～69歳	176(100.0)	50(28.4)	126(71.6)	-(-)
	70～79歳	152(100.0)	37(24.3)	113(74.3)	2(1.3)
	80歳～	58(100.0)	20(34.5)	38(65.5)	-(-)
不明	99(100.0)	26(26.3)	73(73.7)	-(-)	

問6-F2 【森林ボランティア設立や活動支援】 に対する意見 × 問17 年齢								
回答者数 (%)		問6-F2 【森林ボランティア設立や活動支援】 に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問17 年齢	合計	1001(100.0)	421(42.1)	270(27.0)	17(1.7)	10(1.0)	77(7.7)	206(20.6)
	20～29歳	70(100.0)	22(31.4)	27(38.6)	2(2.9)	1(1.4)	7(10.0)	11(15.7)
	30～39歳	116(100.0)	42(36.2)	46(39.7)	2(1.7)	1(0.9)	14(12.1)	11(9.5)
	40～49歳	119(100.0)	44(37.0)	38(31.9)	5(4.2)	2(1.7)	14(11.8)	16(13.4)
	50～59歳	211(100.0)	98(46.4)	57(27.0)	5(2.4)	3(1.4)	15(7.1)	33(15.6)
	60～69歳	176(100.0)	76(43.2)	49(27.8)	2(1.1)	-(-)	9(5.1)	40(22.7)
	70～79歳	152(100.0)	62(40.8)	26(17.1)	1(0.7)	1(0.7)	7(4.6)	55(36.2)
	80歳～	58(100.0)	29(50.0)	7(12.1)	-(-)	1(1.7)	6(10.3)	15(25.9)
不明	99(100.0)	48(48.5)	20(20.2)	-(-)	1(1.0)	5(5.1)	25(25.3)	

現行の森林環境税に対する評価を問いかけた問7とのクロス集計では、年齢と評価の間に正の関係が認められ、高い年齢層ほど「大いに賛成」とする傾向が認められる。しかし、問8 森林環境税H20.4以降の継続に対する意見では、こうした関係は認められな

い. 20 歳代の回答者のうち現行の制度を大いに評価するとした割合は 29%に留まっているが、継続については 5 割弱が「大いに賛成」としており、現行制度を必ずしも高く評価しない層も継続には賛成する動きがあり、これが問 7 と問 8 の反応の違いを生んでいると推測される。

問 7 森林環境税に対する評価 × 問 17 年齢		問 7 森林環境税に対する評価						
	回答者数 (%)	問 7 森林環境税に対する評価						
		合計	大いに賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	不明
問 17 年齢	合計	1001(100.0)	357(35.7)	451(45.1)	23(2.3)	16(1.6)	118(11.8)	36(3.6)
	20～29歳	70(100.0)	20(28.6)	35(50.0)	2(2.9)	1(1.4)	9(12.9)	3(4.3)
	30～39歳	116(100.0)	34(29.3)	53(45.7)	3(2.6)	2(1.7)	22(19.0)	2(1.7)
	40～49歳	119(100.0)	36(30.3)	62(52.1)	5(4.2)	3(2.5)	11(9.2)	2(1.7)
	50～59歳	211(100.0)	75(35.5)	92(43.6)	6(2.8)	6(2.8)	25(11.8)	7(3.3)
	60～69歳	176(100.0)	62(35.2)	90(51.1)	5(2.8)	-(-)	12(6.8)	7(4.0)
	70～79歳	152(100.0)	62(40.8)	56(36.8)	2(1.3)	3(2.0)	20(13.2)	9(5.9)
	80歳～	58(100.0)	26(44.8)	19(32.8)	-(-)	-(-)	9(15.5)	4(6.9)
	不明	99(100.0)	42(42.4)	44(44.4)	-(-)	1(1.0)	10(10.1)	2(2.0)

問 8 森林環境税 H20.4 以降の継続に対して × 問 17 年齢		問 8 森林環境税 H20.4 以降の継続に対して						
	回答者数 (%)	問 8 森林環境税 H20.4 以降の継続に対して						
		合計	大いに賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	不明
問 17 年齢	合計	1001(100.0)	452(45.2)	383(38.3)	33(3.3)	24(2.4)	86(8.6)	23(2.3)
	20～29歳	70(100.0)	33(47.1)	19(27.1)	2(2.9)	2(2.9)	12(17.1)	2(2.9)
	30～39歳	116(100.0)	35(30.2)	58(50.0)	6(5.2)	2(1.7)	13(11.2)	2(1.7)
	40～49歳	119(100.0)	49(41.2)	55(46.2)	3(2.5)	5(4.2)	6(5.0)	1(0.8)
	50～59歳	211(100.0)	100(47.4)	78(37.0)	9(4.3)	7(3.3)	13(6.2)	4(1.9)
	60～69歳	176(100.0)	80(45.5)	73(41.5)	9(5.1)	2(1.1)	8(4.5)	4(2.3)
	70～79歳	152(100.0)	75(49.3)	54(35.5)	2(1.3)	3(2.0)	15(9.9)	3(2.0)
	80歳～	58(100.0)	25(43.1)	18(31.0)	-(-)	1(1.7)	10(17.2)	4(6.9)
	不明	99(100.0)	55(55.6)	28(28.3)	2(2.0)	2(2.0)	9(9.1)	3(3.0)

【居住地を軸にしたクロス集計分析】

回答者の居住地とのクロス集計では、居住地を高知市とその他の地域に分類してその傾向を分析した。回答者のうち高知市に居住している比率は 35%である。

問 2 とのクロス集計結果からは、森林環境税の認知度は高知市とその他の地域で大きく変わらないことがわかる。

問2 「森林環境税」の導入を知っていたか × 問18-2 居住地		問2 「森林環境税」の導入を知っていたか			
	回答者数 (%)	合計	知っていた	知らなかった	不明
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	626(62.5)	365(36.5)	10(1.0)
	高知市	353(100.0)	218(61.8)	134(38.0)	1(0.3)
	その他	491(100.0)	308(62.7)	177(36.0)	6(1.2)
	不明	157(100.0)	100(63.7)	54(34.4)	3(1.9)

また、問4の森林への関心の高さとの集計結果からは、高知市の回答者がその他の地域の回答者より「非常に関心がある」とする層が多く、高知市の回答者により高い関心が認められる。

問4 身の回りの森に関心・興味はあるか × 問18-2 居住地		問4 身の回りの森に関心・興味はあるか						
	回答者数 (%)	合計	非常に関心がある	関心がある	どちらとも言えない	あまり関心がない	全く関心がない	不明
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	150(15.0)	539(53.8)	177(17.7)	118(11.8)	10(1.0)	7(0.7)
	高知市	353(100.0)	64(18.1)	168(47.6)	76(21.5)	39(11.0)	5(1.4)	1(0.3)
	その他	491(100.0)	62(12.6)	275(56.0)	80(16.3)	66(13.4)	4(0.8)	4(0.8)
	不明	157(100.0)	24(15.3)	96(61.1)	21(13.4)	13(8.3)	1(0.6)	2(1.3)

ボランティア活動については、その他の地域の回答者において参加率が高い。

問5 植樹や間伐のボランティア活動に参加したことはあるか × 問18-2 居住地		問5 植樹や間伐のボランティア活動に参加したことはあるか			
	回答者数 (%)	合計	ある	ない	不明
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	112(11.2)	881(88.0)	8(0.8)
	高知市	353(100.0)	33(9.3)	319(90.4)	1(0.3)
	その他	491(100.0)	61(12.4)	426(86.8)	4(0.8)
	不明	157(100.0)	18(11.5)	136(86.6)	3(1.9)

問6の現行の森林環境税の事業の認知度や今後のあり方と居住地のクロス集計結果を以下の表にまとめてある。概して両地域の回答者に目立った差異は認められない。敢えて言えば、広報事業(A)および県民主体の活動への支援(B)への反応に若干の違いが認められる程度である。前者については、認知度はその他の地域の回答者が高いが、今後の充実を支持する割合は高知市の回答者で高くなっている。また、後者については、逆であり、県民主体の活動支援については高知市の回答者の認知度が高いが、今後充実すべきとする割合はその他の地域の回答者で高くなっている。

問6-A1 【広報や情報発信】知っていたか × 問18-2 居住地		問6-A1 【広報や情報発信】知っていたか			
回答者数 (%)	合計	はい	いいえ	不明	
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	458(45.8)	543(54.2)	-(-)
	高知市	353(100.0)	162(45.9)	191(54.1)	-(-)
	その他	491(100.0)	240(48.9)	251(51.1)	-(-)
	不明	157(100.0)	56(35.7)	101(64.3)	-(-)

問6-A2 【広報や情報発信】に対する意見 × 問18-2 居住地		問6-A2 【広報や情報発信】に対する意見						
回答者数 (%)	合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明	
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	354(35.4)	357(35.7)	52(5.2)	18(1.8)	53(5.3)	167(16.7)
	高知市	353(100.0)	124(35.1)	135(38.2)	22(6.2)	7(2.0)	17(4.8)	48(13.6)
	その他	491(100.0)	170(34.6)	176(35.8)	28(5.7)	9(1.8)	29(5.9)	79(16.1)
	不明	157(100.0)	60(38.2)	46(29.3)	2(1.3)	2(1.3)	7(4.5)	40(25.5)

問6-B1 【森林保全の県民の活動支援】知っていたか × 問18-2 居住地		問6-B1 【森林保全の県民の活動支援】知っていたか			
回答者数 (%)	合計	はい	いいえ	不明	
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	227(22.7)	773(77.2)	1(0.1)
	高知市	353(100.0)	83(23.5)	269(76.2)	1(0.3)
	その他	491(100.0)	106(21.6)	385(78.4)	-(-)
	不明	157(100.0)	38(24.2)	119(75.8)	-(-)

問6-B2 【森林保全の県民の活動支援】に対する意見 × 問18-2 居住地		問6-B2 【森林保全の県民の活動支援】に対する意見						
回答者数 (%)	合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明	
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	439(43.9)	251(25.1)	13(1.3)	11(1.1)	70(7.0)	217(21.7)
	高知市	353(100.0)	154(43.6)	95(26.9)	5(1.4)	8(2.3)	26(7.4)	65(18.4)
	その他	491(100.0)	222(45.2)	121(24.6)	7(1.4)	2(0.4)	37(7.5)	102(20.8)
	不明	157(100.0)	63(40.1)	35(22.3)	1(0.6)	1(0.6)	7(4.5)	50(31.8)

問6-C1 【子供たちへの森林環境学習支援】知っていたか × 問18-2 居住地		問6-C1 【子供たちへの森林環境学習支援】知っていたか			
回答者数 (%)	合計	はい	いいえ	不明	
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	338(33.8)	662(66.1)	1(0.1)
	高知市	353(100.0)	123(34.8)	229(64.9)	1(0.3)
	その他	491(100.0)	169(34.4)	322(65.6)	-(-)
	不明	157(100.0)	46(29.3)	111(70.7)	-(-)

問6-C2 【子供たちへの森林環境学習支援】に対する意見 × 問18-2 居住地		問6-C2 【子供たちへの森林環境学習支援】に対する意見 SA						
回答者数 (%)	合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明	
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	513(51.2)	239(23.9)	7(0.7)	8(0.8)	45(4.5)	189(18.9)
	高知市	353(100.0)	184(52.1)	87(24.6)	3(0.8)	4(1.1)	21(5.9)	54(15.3)
	その他	491(100.0)	257(52.3)	116(23.6)	4(0.8)	4(0.8)	20(4.1)	90(18.3)
	不明	157(100.0)	72(45.9)	36(22.9)	-(-)	-(-)	4(2.5)	45(28.7)

問6-D1 【ダムの上流などへの間伐実施】知っていたか × 問18-2 居住地					
	回答者数 (%)	問6-D1 【ダムの上流などへの間伐実施】知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	254(25.4)	743(74.2)	4(0.4)
	高知市	353(100.0)	91(25.8)	259(73.4)	3(0.8)
	その他	491(100.0)	124(25.3)	366(74.5)	1(0.2)
	不明	157(100.0)	39(24.8)	118(75.2)	-(-)

問6-D2 【ダムの上流などへの間伐実施】に対する意見 × 問18-2 居住地								
	回答者数 (%)	問6-D2 【ダムの上流などへの間伐実施】に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	505(50.4)	190(19.0)	12(1.2)	10(1.0)	65(6.5)	219(21.9)
	高知市	353(100.0)	182(51.6)	73(20.7)	3(0.8)	5(1.4)	23(6.5)	67(19.0)
	その他	491(100.0)	250(50.9)	92(18.7)	8(1.6)	4(0.8)	34(6.9)	103(21.0)
	不明	157(100.0)	73(46.5)	25(15.9)	1(0.6)	1(0.6)	8(5.1)	49(31.2)

問6-E1 【荒廃竹林・山里などの整備】知っていたか × 問18-2 居住地					
	回答者数 (%)	問6-E1 【荒廃竹林・山里などの整備】知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	295(29.5)	701(70.0)	5(0.5)
	高知市	353(100.0)	108(30.6)	242(68.6)	3(0.8)
	その他	491(100.0)	145(29.5)	344(70.1)	2(0.4)
	不明	157(100.0)	42(26.8)	115(73.2)	-(-)

問6-E2 【荒廃竹林・山里などの整備】に対する意見 × 問18-2 居住地								
	回答者数 (%)	問6-E2 【荒廃竹林・山里などの整備】に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	570(56.9)	165(16.5)	8(0.8)	7(0.7)	60(6.0)	191(19.1)
	高知市	353(100.0)	204(57.8)	63(17.8)	2(0.6)	5(1.4)	21(5.9)	58(16.4)
	その他	491(100.0)	285(58.0)	82(16.7)	5(1.0)	2(0.4)	30(6.1)	87(17.7)
	不明	157(100.0)	81(51.6)	20(12.7)	1(0.6)	-(-)	9(5.7)	46(29.3)

問6-F1 【森林ボランティア設立や活動支援】知っていたか × 問18-2 居住地					
	回答者数 (%)	問6-F1 【森林ボランティア設立や活動支援】知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	244(24.4)	754(75.3)	3(0.3)
	高知市	353(100.0)	90(25.5)	261(73.9)	2(0.6)
	その他	491(100.0)	121(24.6)	369(75.2)	1(0.2)
	不明	157(100.0)	33(21.0)	124(79.0)	-(-)

問6-F2 【森林ボランティア設立や活動支援】に対する意見 × 問18-2 居住地								
	回答者数 (%)	問6-F2 【森林ボランティア設立や活動支援】に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	421(42.1)	270(27.0)	17(1.7)	10(1.0)	77(7.7)	206(20.6)
	高知市	353(100.0)	147(41.6)	104(29.5)	9(2.5)	4(1.1)	27(7.6)	62(17.6)
	その他	491(100.0)	203(41.3)	140(28.5)	8(1.6)	4(0.8)	42(8.6)	94(19.1)
	不明	157(100.0)	71(45.2)	26(16.6)	-(-)	2(1.3)	8(5.1)	50(31.8)

現行の森林環境税の仕組みやその継続についての質問（問7,8）とのクロス集計結果が

らは、高知市の回答者で「大いに賛成」「どちらかといえば賛成」の割合がその他の地域を上回っており、高知市の回答者の森林環境税に対する積極的な姿勢が目立つ。

問7 森林環境税に対する評価 × 問18-2 居住地								
回答者数 (%)	問7 森林環境税に対する評価							
	合計	大いに賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反対	わからない	不明	
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	357(35.7)	451(45.1)	23(2.3)	16(1.6)	118(11.8)	36(3.6)
	高知市	353(100.0)	125(35.4)	165(46.7)	9(2.5)	8(2.3)	36(10.2)	10(2.8)
	その他	491(100.0)	169(34.4)	220(44.8)	12(2.4)	6(1.2)	64(13.0)	20(4.1)
	不明	157(100.0)	63(40.1)	66(42.0)	2(1.3)	2(1.3)	18(11.5)	6(3.8)

問8 森林環境税税H20.4以降の継続に対して × 問18-2 居住地								
回答者数 (%)	問8 森林環境税税H20.4以降の継続に対して							
	合計	大いに賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反対	わからない	不明	
問18-2 居住地	合計	1001(100.0)	452(45.2)	383(38.3)	33(3.3)	24(2.4)	86(8.6)	23(2.3)
	高知市	353(100.0)	157(44.5)	154(43.6)	9(2.5)	9(2.5)	18(5.1)	6(1.7)
	その他	491(100.0)	217(44.2)	177(36.0)	18(3.7)	12(2.4)	53(10.8)	14(2.9)
	不明	157(100.0)	78(49.7)	52(33.1)	6(3.8)	3(1.9)	15(9.6)	3(1.9)

【森林所有の有無を軸にしたクロス集計分析】

以下は回答者が森林を所有しているかどうかを軸にクロス集計分析を行った結果である。これをみると、森林を所有している回答者が所有していない回答者より森林環境税の仕組みをよく認知し（問2）、森への関心も高く（問4）、ボランティアへの参加率（問5）も高い。また、森林を所有している回答者の森林環境税の事業への認知度は高く、今後それぞれの事業を充実させたいと考える割合も高い。ただし、森林環境教育事業の今後のあり方(C)については、「充実すべき」とする割合は森林を所有していない回答者が高く、例外的な反応となっている。また、ダムの上流域などへの間伐事業については、「充実すべき」とする割合が所有するしないにかかわらず、ほぼ50%となっている。これらの事業については、所有しない回答者の関心が特に高いとみてよいだろう。

問2 「森林環境税」の導入をを知っていたか × 問20 県内に森林を所有しているか					
回答者数 (%)	問2 「森林環境税」の導入をを知っていたか				
	合計	知っていた	知らなかった	不明	
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	626(62.5)	365(36.5)	10(1.0)
	所有している	263(100.0)	196(74.5)	61(23.2)	6(2.3)
	所有していない	630(100.0)	357(56.7)	271(43.0)	2(0.3)
	不明	108(100.0)	73(67.6)	33(30.6)	2(1.9)

		問4 身の回りの森に関心・興味はあるか × 問20 県内に森林を所有しているか						
回答者数 (%)		問4 身の回りの森に関心・興味はあるか						
		合計	非常に関心がある	関心がある	どちらとも言えない	あまり関心がない	全く関心がない	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	150(15.0)	539(53.8)	177(17.7)	118(11.8)	10(1.0)	7(0.7)
	所有している	263(100.0)	68(25.9)	141(53.6)	32(12.2)	19(7.2)	1(0.4)	2(0.8)
	所有していない	630(100.0)	65(10.3)	336(53.3)	130(20.6)	88(14.0)	9(1.4)	2(0.3)
	不明	108(100.0)	17(15.7)	62(57.4)	15(13.9)	11(10.2)	-(-)	3(2.8)

		問5 植樹や間伐のボランティア活動に参加したことはあるか × 問20 県内に森林を所有しているか			
回答者数 (%)		問5 植樹や間伐のボランティア活動に参加したことはあるか			
		合計	ある	ない	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	112(11.2)	881(88.0)	8(0.8)
	所有している	263(100.0)	52(19.8)	208(79.1)	3(1.1)
	所有していない	630(100.0)	48(7.6)	580(92.1)	2(0.3)
	不明	108(100.0)	12(11.1)	93(86.1)	3(2.8)

		問6 - A1 【広報や情報発信】知っていたか × 問20 県内に森林を所有しているか			
回答者数 (%)		問6 - A1 【広報や情報発信】知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	458(45.8)	543(54.2)	-(-)
	所有している	263(100.0)	132(50.2)	131(49.8)	-(-)
	所有していない	630(100.0)	283(44.9)	347(55.1)	-(-)
	不明	108(100.0)	43(39.8)	65(60.2)	-(-)

		問6 - A2 【広報や情報発信】 に対する意見 × 問20 県内に森林を所有しているか						
回答者数 (%)		問6 - A2 【広報や情報発信】 に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	354(35.4)	357(35.7)	52(5.2)	18(1.8)	53(5.3)	167(16.7)
	所有している	263(100.0)	101(38.4)	86(32.7)	17(6.5)	4(1.5)	5(1.9)	50(19.0)
	所有していない	630(100.0)	213(33.8)	238(37.8)	33(5.2)	12(1.9)	43(6.8)	91(14.4)
	不明	108(100.0)	40(37.0)	33(30.6)	2(1.9)	2(1.9)	5(4.6)	26(24.1)

		問6 - B1 【森林保全の県民の活動支援】知っていたか × 問20 県内に森林を所有しているか			
回答者数 (%)		問6 - B1 【森林保全の県民の活動支援】知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	227(22.7)	773(77.2)	1(0.1)
	所有している	263(100.0)	74(28.1)	189(71.9)	-(-)
	所有していない	630(100.0)	127(20.2)	502(79.7)	1(0.2)
	不明	108(100.0)	26(24.1)	82(75.9)	-(-)

		問6 - B2 【森林保全の県民の活動支援】 に対する意見 × 問20 県内に森林を所有しているか						
回答者数 (%)		問6 - B2 【森林保全の県民の活動支援】 に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	439(43.9)	251(25.1)	13(1.3)	11(1.1)	70(7.0)	217(21.7)
	所有している	263(100.0)	129(49.0)	63(24.0)	4(1.5)	3(1.1)	7(2.7)	57(21.7)
	所有していない	630(100.0)	264(41.9)	162(25.7)	8(1.3)	8(1.3)	57(9.0)	131(20.8)
	不明	108(100.0)	46(42.6)	26(24.1)	1(0.9)	-(-)	6(5.6)	29(26.9)

		問6 - C 1 【子供たちへの森林環境学習支援】知っていたか × 問20 県内に森林を所有しているか			
回答者数 (%)		問6 - C 1 【子供たちへの森林環境学習支援】知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	338(33.8)	662(66.1)	1(0.1)
	所有している	263(100.0)	98(37.3)	165(62.7)	-(-)
	所有していない	630(100.0)	203(32.2)	426(67.6)	1(0.2)
	不明	108(100.0)	37(34.3)	71(65.7)	-(-)

		問6 - C 2 【子供たちへの森林環境学習支援】 に対する意見 SA × 問20 県内に森林を所有しているか						
回答者数 (%)		問6 - C 2 【子供たちへの森林環境学習支援】 に対する意見 SA						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	513(51.2)	239(23.9)	7(0.7)	8(0.8)	45(4.5)	189(18.9)
	所有している	263(100.0)	128(48.7)	61(23.2)	3(1.1)	3(1.1)	6(2.3)	62(23.6)
	所有していない	630(100.0)	327(51.9)	155(24.6)	4(0.6)	5(0.8)	35(5.6)	104(16.5)
	不明	108(100.0)	58(53.7)	23(21.3)	-(-)	-(-)	4(3.7)	23(21.3)

		問6 - D 1 【ダムの上流などへの間伐実施】知っていたか × 問20 県内に森林を所有しているか			
回答者数 (%)		問6 - D 1 【ダムの上流などへの間伐実施】知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	254(25.4)	743(74.2)	4(0.4)
	所有している	263(100.0)	87(33.1)	175(66.5)	1(0.4)
	所有していない	630(100.0)	138(21.9)	489(77.6)	3(0.5)
	不明	108(100.0)	29(26.9)	79(73.1)	-(-)

		問6 - D 2 【ダムの上流などへの間伐実施】 に対する意見 × 問20 県内に森林を所有しているか						
回答者数 (%)		問6 - D 2 【ダムの上流などへの間伐実施】 に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	505(50.4)	190(19.0)	12(1.2)	10(1.0)	65(6.5)	219(21.9)
	所有している	263(100.0)	132(50.2)	50(19.0)	5(1.9)	4(1.5)	7(2.7)	65(24.7)
	所有していない	630(100.0)	318(50.5)	123(19.5)	7(1.1)	5(0.8)	51(8.1)	126(20.0)
	不明	108(100.0)	55(50.9)	17(15.7)	-(-)	1(0.9)	7(6.5)	28(25.9)

		問6 - E 1 【荒廃竹林・山里などの整備】知っていたか × 問20 県内に森林を所有しているか			
回答者数 (%)		問6 - E 1 【荒廃竹林・山里などの整備】知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	295(29.5)	701(70.0)	5(0.5)
	所有している	263(100.0)	102(38.8)	159(60.5)	2(0.8)
	所有していない	630(100.0)	162(25.7)	465(73.8)	3(0.5)
	不明	108(100.0)	31(28.7)	77(71.3)	-(-)

		問6 - E 2 【荒廃竹林・山里などの整備】 に対する意見 × 問20 県内に森林を所有しているか						
回答者数 (%)		問6 - E 2 【荒廃竹林・山里などの整備】 に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	570(56.9)	165(16.5)	8(0.8)	7(0.7)	60(6.0)	191(19.1)
	所有している	263(100.0)	166(63.1)	39(14.8)	4(1.5)	2(0.8)	4(1.5)	48(18.3)
	所有していない	630(100.0)	348(55.2)	109(17.3)	4(0.6)	5(0.8)	48(7.6)	116(18.4)
	不明	108(100.0)	56(51.9)	17(15.7)	-(-)	-(-)	8(7.4)	27(25.0)

問6 - F1 【森林ボランティア設立や活動支援】知っていたか × 問20 県内に森林を所有しているか					
	回答者数 (%)	問6 - F1 【森林ボランティア設立や活動支援】知っていたか			
		合計	はい	いいえ	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	244(24.4)	754(75.3)	3(0.3)
	所有している	263(100.0)	80(30.4)	182(69.2)	1(0.4)
	所有していない	630(100.0)	137(21.7)	491(77.9)	2(0.3)
	不明	108(100.0)	27(25.0)	81(75.0)	-(-)

問6 - F2 【森林ボランティア設立や活動支援】 に対する意見 × 問20 県内に森林を所有しているか								
	回答者数 (%)	問6 - F2 【森林ボランティア設立や活動支援】 に対する意見						
		合計	充実	現状	縮小	廃止	わからない	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	421(42.1)	270(27.0)	17(1.7)	10(1.0)	77(7.7)	206(20.6)
	所有している	263(100.0)	120(45.6)	66(25.1)	6(2.3)	2(0.8)	10(3.8)	59(22.4)
	所有していない	630(100.0)	249(39.5)	185(29.4)	11(1.7)	7(1.1)	61(9.7)	117(18.6)
	不明	108(100.0)	52(48.1)	19(17.6)	-(-)	1(0.9)	6(5.6)	30(27.8)

現行の森林環境税の仕組みに対する評価や税制の継続については、いずれも森林所有者がより積極的な反応を示している。

問7 森林環境税に対する評価 × 問20 県内に森林を所有しているか								
	回答者数 (%)	問7 森林環境税に対する評価						
		合計	大いに賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	357(35.7)	451(45.1)	23(2.3)	16(1.6)	118(11.8)	36(3.6)
	所有している	263(100.0)	105(39.9)	123(46.8)	6(2.3)	3(1.1)	15(5.7)	11(4.2)
	所有していない	630(100.0)	208(33.0)	279(44.3)	17(2.7)	12(1.9)	93(14.8)	21(3.3)
	不明	108(100.0)	44(40.7)	49(45.4)	-(-)	1(0.9)	10(9.3)	4(3.7)

問8 森林環境税H20.4以降の継続に対して × 問20 県内に森林を所有しているか								
	回答者数 (%)	問8 森林環境税H20.4以降の継続に対して						
		合計	大いに賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	不明
問20 県内に森林を所有しているか	合計	1001(100.0)	452(45.2)	383(38.3)	33(3.3)	24(2.4)	86(8.6)	23(2.3)
	所有している	263(100.0)	129(49.0)	96(36.5)	9(3.4)	5(1.9)	18(6.8)	6(2.3)
	所有していない	630(100.0)	265(42.1)	253(40.2)	22(3.5)	18(2.9)	59(9.4)	13(2.1)
	不明	108(100.0)	58(53.7)	34(31.5)	2(1.9)	1(0.9)	9(8.3)	4(3.7)

自由記入欄の整理

以下は、問 20 の自由記入欄を用途・負担・不正のない行政の要請・行政のあり方・姿勢・税制度への賛成意見・その他に分類して表示したものである。用途の周知や責任論、さらには多様な用途の提案などとともに、行政が適正に（不正なく）事業を実施しているかどうかを疑問視する指摘が少なからずある。また、行政のあり方については、国の負担を求める声や税制を永続的に維持すべきなどの意見があったほか、森林環境税を支持する意見も多く寄せられている。（個々の意見は省略）